

令和5年度当初予算のポイント

第3次燕市総合計画スタート！
深化！進化！真価！輝く燕



新潟県燕市

目 次

1. 「現状認識」と令和5年度当初予算の「編成ポイント」	3
2. 令和5年度当初予算の「規模」	4
3. 令和5年度当初予算の「重点施策」と「新規・拡充事業」	5
【重点施策①】「子育てするなら燕市で」と評価される施策の展開	6
【重点施策②】「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」	7
4. 一般会計「歳入予算」の概要	8
5. 一般会計「歳出予算」の概要	15
6. 一般会計「基金残高」の状況	18
7. 一般会計「市債残高」の状況	19
8. 第3次燕市総合計画の戦略体系に基づく主要事業	20
〔戦略1〕定住人口戦略	27
〔戦略2〕活動人口戦略	39
〔戦略3〕交流・応援(燕)人口戦略	45
〔戦略4〕人口戦略を支える都市環境の整備	48
〔戦略5〕持続可能な行財政運営の推進	54

「現状認識」と令和5年度当初予算の「編成ポイント」

-3-

【現状認識】

コロナ禍からの社会経済活動の回復が進みつつあり、市税収入に緩やかな持ち直しの動きがみられる一方で、電気料金等価格の高騰により公共施設においても維持管理経費が増加しており、施設の老朽化対策や社会保障関連経費の増など従前からの財政負担の増加要因も相まって、厳しい財政状況が続いている。令和5年度の当初予算は、こうした状況を踏まえ、限られた経営資源を効率的・効果的に配分する方針のもと、次のことをポイントに編成を行いました。

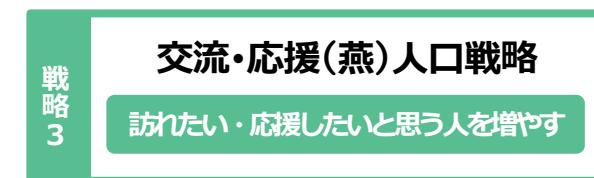
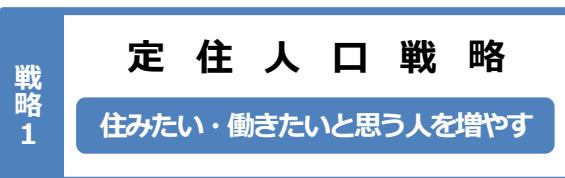
【編成ポイント】

令和5年度は、第3次燕市総合計画の初年度となる大切な年です。先人たちが築き上げてきた燕市を次の100年に引き継いでいくための幸先の良いスタートを切れるよう、「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援(燕)人口戦略」の3つの人口減少対策を柱に据えた予算編成を行いました。

特に、「『子育てするなら燕市で』と評価される施策の展開」と「『地域社会のDX』と『脱炭素社会の推進』」を重点に、急速な人口減少や本市を取り巻く社会潮流に対応した各種施策に取り組んでまいります。

— 先人たちが築き上げてきた燕市を次の100年に引き継いでいくために —

第3次燕市総合計画の初年度 幸先の良いスタートを！



令和5年度当初予算の「規模」

◆一般会計当初予算額 431億9,000万円（合併後最大となった令和4年度に次ぐ規模）

なお、市債の借入額と返済額を同額で計上している借換分を除いた「実質的な予算規模」376億9,685万円と、令和4年度の国庫支出金を活用して前倒しで補正計上している「繰越事業」18億5,299万円を合わせた「執行ベースの予算規模」は、395億4,984万円と合併後最大となっています。

その要因は、ワクチン接種などの感染症対策経費の減により「実質的な予算規模」が減少した一方で、令和4年度に前倒しで補正計上している「繰越事業」が増加したことによるものです。

また、特別会計の総額は172億5,568万円となっています。

一般会計の予算規模	予 算 額	対前年度増減額	前年度比
一般会計 ①	431億9,000万円	▲23億5,700万円	▲5.2%
①のうち借換分 ②	54億9,315万円	▲15億6,854万円	▲22.2%
実質的な予算規模 ① - ②	376億9,685万円	▲7億8,846万円	▲2.0%
繰越事業 ③	18億5,299万円	9億9,223万円	115.3%
執行ベースの予算規模 ① - ② + ③	395億4,984万円	2億 377万円	0.5%

特別会計	予 算 額	対前年度増減額	前年度比
国民健康保険	70億6,284万円	▲9,757万円	▲1.4%
後期高齢者医療	10億1,963万円	3,942万円	4.0%
介護保険事業	91億 299万円	▲1,229万円	▲0.1%
土地取得	7,022万円	▲1,669万円	▲19.2%
計	172億5,568万円	▲8,713万円	▲0.5%



重点施策①

「子育てするなら燕市で」と評価される施策の展開 (P. 6)

新規：8、拡充：7、臨時：1

重点施策②

「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」 (P. 7)

新規：12、拡充：5

戦略1 定住人口戦略

1 活力ある産業の振興

- 新 「選ばれる職場づくり」リーディング事業
- 拡 農産物販路拡大推進事業

2 次世代につなぐ教育の推進・子育て支援

- 拡 「読解力」育成プロジェクト
- 新 保育士等修学資金貸付事業

3 健やかに暮らせる医療福祉の充実

- 新 高齢者の権利擁護アドバイザー事業
- 新 障がい者地域生活支援拠点等運営事業

4 地域に根付く移住・定住の促進

- 拡 つばめ移住・定住促進事業 など

新規：32、拡充：26、臨時：3

戦略2 活動人口戦略

1 いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

- 新 医療用補正具購入費助成事業
- 新 B&G海洋センター改修事業
- 新 声優朗読劇書籍化事業

2 つながり、支え合う地域社会の実現

- 新 ヤングケアラーサポート事業
- 新 成年後見制度利用促進中核機関運営事業

3 一人ひとりが活躍できるまちづくり

- 拡 つばめ子育て応援企業サポート事業
- 拡 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

など

新規：12、拡充：9、臨時：5

戦略3 交流・応援（燕）人口戦略

1 魅力あふれる観光の振興

- 新 燕青空即売会ツアー造成支援事業
- 臨 産業史料館50周年記念事業
- 拡 道の駅「国上」周辺駐車場及び公園の整備

2 つながりを活かした燕市のファンづくり

- 拡 ふるさと燕応援事業
- 拡 シティプロモーション事業

など



新規：5、拡充：9、臨時：1

戦略4 人口戦略を支える都市環境の整備

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 新 中心市街地再生モデル事業補助金
- 拡 橋梁修繕事業

新規：12、拡充：3、臨時：5

2 持続可能な都市基盤の構築

- 新 広域6号線交差点改良事業
- 新 バス路線の見直し事業

など

戦略5 持続可能な行財政運営の推進

1 自治体DXの推進（重点施策②に掲載）

2 公的資産のマネジメント

- 新 小学校プール解体・駐車場等整備事業

新規：5、拡充：2 など

【重点施策①】「子育てするなら燕市で」と評価される施策の展開 -6-

「子育てするなら燕市で」と評価してもらえるよう、結婚、妊娠・出産、子育て、教育といったライフステージに応じた切れ目のない様々な子育て支援施策を展開します。

新 出産・子育て応援事業 (P.33)

妊娠から出産、子育てまで一貫した
「伴走型相談支援」と「経済的支援」

拡 子どもの医療費助成 (P.34)

18歳までの子どもの入院医療費を
全額助成に拡充

臨 給食費保護者負担の軽減 (P.34)

給食材料費の価格上昇相当分を
市が負担することで給食費を据え置き

新 プレコンセプションケア事業 (P.33)

妊娠前のヘルスケアセミナーを開催

新 マイナンバーカード連携型 電子母子手帳アプリ導入事業

10月からの導入を目指す (P.33)



新 全天候型子ども遊戯施設 建設事業 (P.32)



拡 男女の出会いサポート事業 (P.33)

婚活イベントの継続と
新たにライフデザインセミナーを開催

拡 不妊治療費助成事業 (P.34)

全額助成に拡充



新 産婦健康診査助成事業 (P.34)

産後2週間と1か月の健診費用を一部助成

新 妊産婦タクシーキーポン事業 (P.34)

妊婦・産婦健診受診時の移動を支援

拡 妊産婦医療費助成事業 (P.34)

10月からの受給者証デジタル化を目指す

拡 産後ケア事業 (P.34)

利用料への助成を増額



拡 燕らしい特色ある教育 (P.31、40)

- ・つばめ長善プロジェクト
- ・ゆめみらいスポーツ教室
- など

新 STEAM教育推進モデル事業 (P.30)



拡 つばめ若者会議事業 (P.43)

若者の主体的な取組をサポート



結婚

妊娠

出産

子育て

就園
就学

進学
就職



感染症拡大を契機とした社会全体のデジタル化、オンライン化の進展に対応するための「地域社会のDX」を進めるとともに、地球温暖化対策につながる「脱炭素社会の推進」に取り組み、次の100年に引き継いでいきます。



自治体DX

市民サービスのDX

- 新 市民窓口のキャッシュレス化 (P.54)**
市民課と税務課の窓口に6月から導入

- 新 電子契約システムの導入 (P.54)**
契約業務を10月から順次オンライン化

- 新 マイナンバーカード連携型
電子母子手帳アプリ導入事業 (P.33)**
10月からの導入を目指す

- 新 きららん号予約システム更改事業 (P.52)**
電話予約に加え、11月からWeb予約を導入

- 新 登降園状況確認アプリ導入事業 (P.32)**
6月からの導入を目指す

行政運営のDX

- 拡 DX推進体制の強化 (P.54)**
プロジェクトチーム立ち上げと外部人材増員

- 拡 市議会運営のデジタル化 (P.54)**
各委員会のライブ配信とAI音声認識システムによる自動議事録作成

- 新 介護保険認定調査モバイル導入事業 (P.36)**
タブレット型デバイスで介護認定調査を迅速化

- 新 在宅医療・介護連携アプリ導入事業 (P.36)**
医療機関や介護事業所が受療状況や薬剤情報等を共有できるアプリを導入

- 新 自治会コミュニティ運営応援事業 (P.43)**
デジタル活用による自治会業務負担軽減に向けセミナーを開催

地場産業DX

- 拡 中小企業DX推進支援事業 (P.27)**
DXを通じた生産性向上や販路拡大のほか大学生と市内企業による課題解決を支援

- 拡 先進技術活用推進事業 (P.29)**
農作業の効率化・省力化に向けた先進技術の実証実験・勉強会を実施

DX人材育成

- 新 STEAM教育推進モデル事業 (P.30)**
STEAM教育推進のためのモデル事業を民間企業との協働で実施



- 拡 つばくろロボキッズ教室 (P.31)**
小学生がプログラミングによりロボットを操作する活動を実施

脱炭素社会の推進

- 新 自家消費型太陽光発電
利用促進補助事業 (P.49)**
市内企業が設置する自家消費用太陽光発電設備に対し補助

- 新 メガソーラー発電所の設置 (P.49)**

市内2か所目のメガソーラー発電所がクリーンセンター館野において9月から稼働

- 新 MONO² (モノモノ) リユース事業 (P.49)**

フリーマーケットや学用品リユース会を開催



令和5年度歳入総額は、431億9,000万円です。市債の借入額と返済額を同額で計上している借換分を除く実質的な予算額は、376億9,685万円であり、令和4年度と比較して2.0%（7億8,846万円）の減となっています。

自主財源である市税は回復基調であることから令和4年度に比べ増加するものと見込んでおり、寄附金は全天候型子ども遊戯施設整備などの財源として活用するふるさと納税の令和4年12月末時点の寄附実績を勘案して見込みました。

一方、依存財源は、国の令和5年度予算案や地方財政計画などを踏まえて積算していますが、ワクチン接種など感染症対策等のための国庫支出金の減や、借換債や臨時財政対策債など市債の減により、減少することとなりました。

主な増減内容は、次ページ以降のとおりです。

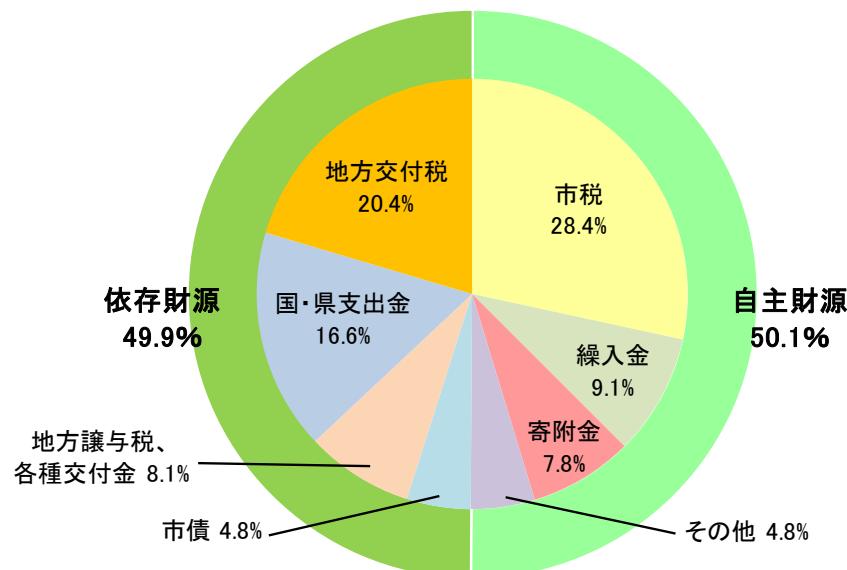
■令和5年度 歳入の内訳

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
自主財源	市 税	106億8,865万円	3億8,220万円 3.7%
	寄 附 金	29億5,001万円	4億5,000万円 18.0%
	繰 入 金	34億3,401万円	▲8,072万円 ▲2.3%
	諸 収 入	8億6,567万円	▲1億4,691万円 ▲14.5%
	そ の 他	9億6,034万円	▲346万円 ▲0.4%
依存財源	地方譲与税	3億4,085万円	▲1,320万円 ▲3.7%
	各種交付金	27億 263万円	3億6,941万円 15.8%
	地方交付税	77億 円	— 0.0%
	国・県支出金	62億5,379万円	▲12億4,589万円 ▲16.6%
	市 債	72億9,405万円 (18億 90万円)	▲20億6,844万円 (▲4億9,990万円) ▲22.1% (▲21.7%)
合 計	431億9,000万円 (376億9,685万円)	▲23億5,700万円 (▲7億8,846万円)	▲5.2% (▲2.0%)

※()は借換分を除いた実質的な予算規模

※ 端数調整のため合計額と一致しない場合があります(次ページ以降において同じ)。

■「実質的な予算額」の構成比



一般会計「歳入予算」の主な内容（自主財源①）

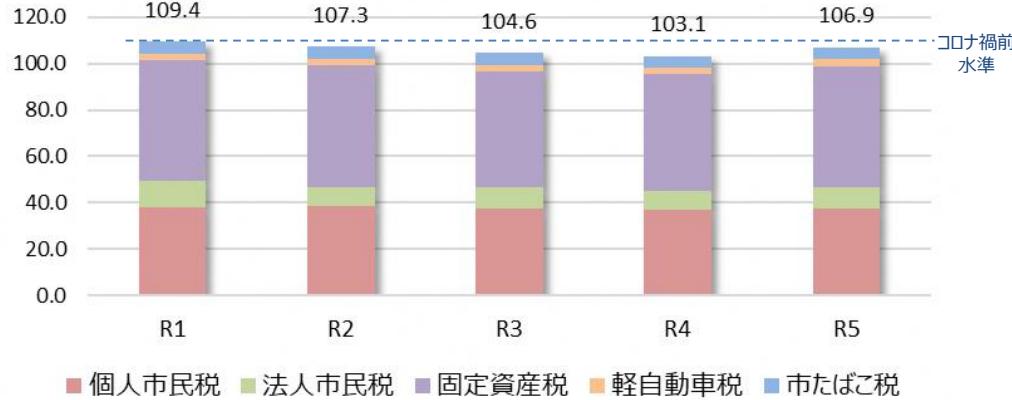
-9-

市税 106億8,865万円 前年度比3億8,220万円 (3.7%) 増

(単位：億円)

市税の推移

R1～R3:決算額
R4～R5:予算額



【主な増減理由】

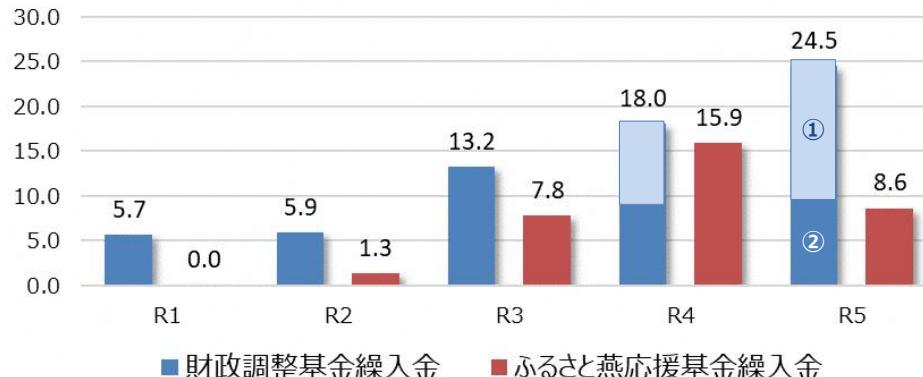
- 個人市民税 ⇒ 紙与所得の緩やかな増加による増
- 法人市民税 ⇒ 業績の緩やかな持ち直しによる増
- 固定資産税 ⇒ 家屋の新・増築の増などによる増

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
市民税	46億6,999万円	1億3,877万円	3.1%
個人市民税	37億6,690万円	6,795万円	1.8%
法人市民税	9億308万円	7,082万円	8.5%
固定資産税	52億1,782万円	2億42万円	4.0%
軽自動車税	2億8,230万円	1,481万円	5.5%
市たばこ税	5億1,854万円	2,820万円	5.8%
合計	106億8,865万円	3億8,220万円	3.7%

繰入金 34億3,401万円 前年度比8,072万円 (2.3%) 減

(単位：億円)

財政調整基金繰入金等の推移



① 前年度ふるさと応援寄附金積立分の繰入額 16億700万円 (前年度比+5億5,700万円)

② 財源対策としての繰入額 8億4,434万円 (前年度比+8,971万円)

【主な増減理由】

- 財政調整基金繰入金
 - ⇒ 令和4年度ふるさと応援寄附金の積立分を新規・重点事業等へ充当することによる増
- ふるさと応援基金繰入金
 - ⇒ 吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)大規模改修事業への充当の皆減やコロナ対策経費への充当の減

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
財政調整基金繰入金	24億5,134万円	6億4,671万円	35.8%
ふるさと応援基金繰入金	8億5,924万円	▲7億2,849万円	▲45.9%
仲治奨学基金繰入金	7,218万円	72万円	1.0%
子ども夢基金繰入金	4,427万円	▲187万円	▲4.0%
その他の基金繰入金	698万円	221万円	46.5%
合計	34億3,401万円	▲8,072万円	▲2.3%

■ ふるさと納税の活用方針

(1) 寄附金（ふるさと納税）

使い途を設定した2つの区分により寄附金（ふるさと納税）を募り、寄附金から返礼品等の経費（事業費）を除いた差額分を新規・重点事業等の財源として有効に活用します。

区分	R5寄附金の使い途	R5寄附見込額	R5歳入予算 寄附金	R5歳出予算		積立先基金
				事業費（経費）	積立金	
① ふるさと応援寄附金 ※	産業、教育、福祉に関すること、市長におまかせ等	21億円	10.5億円	10.5億円	0円	財政調整基金 (補正予算で積立)
	全天候型子ども遊戯施設整備	6.5億円	6.5億円		3.25億円	
② 自治体クラウドファンディング型ふるさと応援寄附金	全天候型子ども遊戯施設整備	12.5億円	12.5億円	6.25億円	6.25億円	ふるさと応援基金 計 9.5億円
合 計		40.0億円	29.5億円	20.0億円	9.5億円	

※ ふるさと応援寄附金について、ふるさと納税を財源の前提としない予算編成とするため、歳入予算17億円のうち「産業、教育、福祉に関すること、市長におまかせ等」への予算10.5億円を超える寄附額は、あらかじめ当初予算の歳入に計上せず、実績に基づき補正予算に計上します。そこから経費を除いた差額分を財政調整基金に積み立てた後、令和6年度以降の新規・重点事業等の財源として繰入れ活用します。

全天候型子ども遊戯施設整備のための寄附

前年度に引き続き「全天候型子ども遊戯施設整備」を使い途とした寄附を募ります。なお、建設資材の高騰などにより事業費が当初想定していた約15億円から約24億円となると見込まれるため、事業費が賄えるよう令和6年度末までの寄附金の目標額も35億円から**48億円**に見直しさせていただく予定(※)です。

年 度	R4	R5	R6	R7
事業スケジュール	用地取得	土地造成工事・設計	建築工事	供用開始
事業費	4.9億円	7.3億円	11.8億円	計24.0億円
積立金 (寄附金)	9.5億円 (19.0億円)	9.5億円 (19.0億円)	5.0億円 (10.0億円)	計24.0億円 (計 48.0億円) *

施設外観（イメージ）



※国に申請中の交付金(約5.7億円)が確保できた場合は、寄附金の目標額を37億円、積立金額を18.5億円へと変更させていただく予定です。

(2) 財政調整基金（令和4年度ふるさと燕応援寄附金の積立分）の充当事業

令和4年度の**ふるさと燕応援寄附金**のうち「産業、教育、福祉、環境、市長におまかせ等」分から経費を除いた差額分は、令和4年12月末時点の寄附実績額に基づき令和4年度補正予算(第10号)に計上し、16億700万円を財政調整基金に積み立てました。この積立分を令和5年度の新規・重点事業等の財源として財政調整基金から繰入れ充当(一般財源)します。

なお、財政調整基金繰入金は、このほかに財源対策として8億4,434万円を計上しているため、合計で24億5,134万円となっています（9ページ参照）。

【令和5年度充当事業】

寄附の使い途	R5主な充当事業 ※		R5充当額
① 産業の振興に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点拡充推進事業 ・農産物ブランド戦略推進事業 ・踏み出せ!農業!スタートアップ事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業史料館50周年記念事業 ・中小企業DX推進支援事業 ・地場産業販路開拓事業 など 	3億3,750万円
② 教育の振興に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・STEAM教育推進モデル事業 ・ゆめみらいスポーツ教室 ・Jack&Bettyプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト ・ICT教育推進事業 ・学校介助員の増員(学校管理費) など 	2億2,980万円
③ 福祉に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用補正具購入費助成事業 ・病児・病後児保育事業 ・作業受委託マッチング促進事業(地域生活支援事業) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費助成事業 ・健康づくりマイストーリー運動 	7,230万円
④ 環境の保護に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs(カーボンニュートラル等)促進事業 ・道路照明LED化事業 ・自家消費型太陽光発電利用促進補助事業(環境政策推進事業) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅エコリフォーム支援事業(建築総務費) ・中学校屋内運動場照明器具改修事業(LED化) 	4,180万円
⑤ 燕市の魅力発信に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・つばめ若者会議事業 ・シティプロモーション事業 ・燕ソウルフード観光プロモーション事業(観光推進費) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・つばめ移住・定住促進事業 ・応援(燕)人口拡大創出事業 	1,285万円
⑥ 市長におまかせ	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が輝くつばめプロジェクト推進事業 ・子ども医療費助成事業 ・つばめ JOBサポート事業 ・妊娠婦タクシーカーポン事業(母子健康診査事業) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・つばめ子育て応援企業サポート事業 ・妊娠婦医療費助成事業 ・授産品新商品開発・販路開拓等支援補助金 	9億1,275万円

※ 充当事業の詳細は、別冊「令和5年度当初予算概要」に掲載しています。

充当額 合計 16億700万円

(3) ふるさと燕応援基金の充当事業

自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金等からそれぞれ経費を除いた差額分は、ふるさと燕応援基金に積み立てた後、寄附使途事業の実施財源として基金から繰り入れ充当します。

【令和5年度充当事業】

(百万円単位に丸めて表示)

積立年度	寄附の使い途	R5 主な充当事業	R5 充当額
H30 R元	① 小学校等のエアコン整備事業償還費	■令和元年度小学校、幼稚園及び保育園のエアコン整備事業に係る市債の償還金	3,600万円
R元 ～ R3	② スポーツ施設の改修等	■スポーツ施設の改修工事等に係る費用の一般財源分（市債の後年度償還金を含む） ・学校開放施設ナイター設備改修事業 ・分水多目的屋内運動場改修事業 ・B&G海洋センター改修事業 など	2,400万円
R2	③ 新型コロナウイルス感染症対策	■新型コロナウイルス感染症対策事業の一般財源分（市債の後年度償還金を含む） ・生活支援補助金（災害対策事業） ・給食食材高騰対策給食費補助金 (給食センター管理運営費、私立認可保育所経費、私立認定こども園経費) ・給食食材費（保育園運営費）など	7,200万円
R4 R5	④ 全天候型子ども遊戯施設整備事業 をはじめとした子育て支援	■全天候型子ども遊戯施設整備事業をはじめとした子育て支援事業の一般財源分 ・全天候型子ども遊戯施設建設事業	7億2,800万円

充当額 合計 8億6,000万円

【ふるさと燕応援基金の積立総額・充当額等】

充当事業	基金積立総額 ※ ①	R4までの充当額 ※ ②	R5充当額 ③	R6以降充当見込額 ④	活用可能残額 ①-②-③-④
① 小学校等のエアコン整備事業償還費	2億7,200万円	1億8,200万円	3,600万円	5,400万円	0円
② スポーツ施設の改修等	28億 900万円	8億2,700万円	2,400万円	11億6,600万円	7億9,200万円
③ 新型コロナウイルス感染症対策	13億5,900万円	11億1,500万円	7,200万円	1億7,200万円	0円
④ 全天候型子ども遊戯施設整備事業	9億5,000万円	4億9,200万円	7億2,800万円	11億8,000万円	-
合 計	53億9,000万円	26億1,600万円	8億6,000万円	25億7,200万円	7億9,200万円

※令和4年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和4年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります。

一般会計「歳入予算」の主な内容（依存財源①）

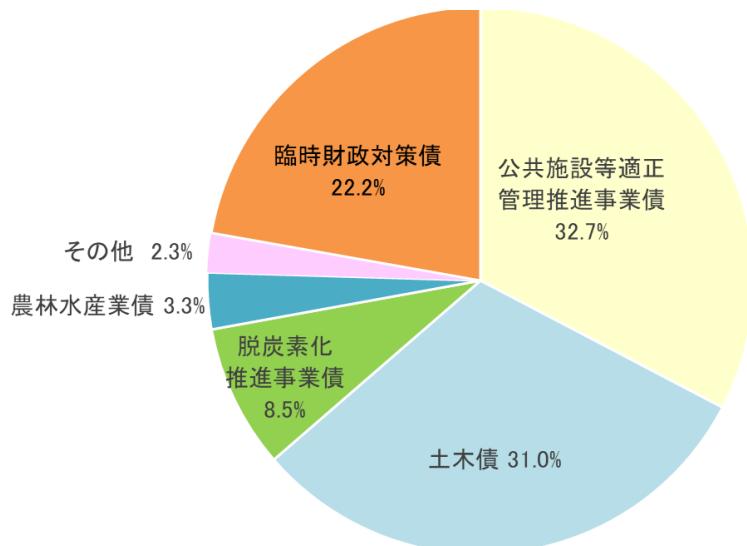
-13-

市債 72億9,405万円 前年度比20億6,844万円（22.1%）減

【主な増減理由】

- ・借換債 15億6,854万円の減
- ・臨時財政対策債 3億5,000万円の減
- ・脱炭素化推進事業債 1億5,300万円の皆増

実質的な市債の構成比



区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
農林水産業債	6,000万円	2,790万円	86.9%
土木債	5億5,770万円	4,780万円	9.4%
消防債	1,440万円	1,110万円	336.4%
臨時財政対策債	4億円	▲3億5,000万円	▲46.7%
公共施設等適正管理推進事業債	5億8,850万円	8,100万円	16.0%
脱炭素化推進事業債	1億5,300万円	1億5,300万円	皆増
県地域づくり資金地域振興事業債	2,730万円	2,660万円	3800.0%
借換債	54億9,315万円	▲15億6,854万円	▲22.2%
教育債	—	▲3億4,910万円	皆減
民生債	—	▲330万円	皆減
緊急防災・減災事業債	—	▲3,160万円	皆減
防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	—	▲1億1,330万円	皆減
合計	72億9,405万円 (18億90万円)	▲20億6,844万円 (▲4億9,990万円)	▲22.1% (▲21.7%)

※()は借換債を除いた実質的な市債です。

地方交付税 77億円 前年同額

【主な増減理由】

- ・普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な普通交付税は、令和5年度地方財政計画を踏まえ、3.5億円の減
- ・特別交付税は大きな増減要因がないため令和4年度と同額

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
実質的な普通交付税	71.0億円	▲3.5億円	▲4.7%
普通交付税	67.0億円	—	0.0%
臨時財政対策債	4.0億円	▲3.5億円	▲46.7%
特別交付税	10.0億円	—	0.0%
合計	81.0億円	▲3.5億円	▲4.1%

一般会計「歳入予算」の主な内容（依存財源②）

-14-

国庫支出金 38億3,149万円 前年度比13億2,877万円 (25.8%) 減

【主な増減理由】

- ・新型コロナワイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 5億8,617万円の皆減
- ・新型コロナワイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3億3,766万円の皆減
- ・遺跡発掘調査費負担金 3億4,935万円の皆減
(石港遺跡発掘調査の令和4年度補正前倒し実施による皆減)

県支出金 24億2,230万円 前年度比8,288万円 (3.5%) 増

【主な増減理由】

- ・遺跡発掘調査費負担金（松田遺跡及び仲沖遺跡発掘調査） 5,400万円の皆増
- ・障がい者自立支援給付費等負担金 2,769万円の増
- ・放課後児童健全育成事業費等補助金 2,080万円の増
- ・新潟県知事選挙費交付金 3,334万円の皆減

地方譲与税、各種交付金 30億4,348万円

前年度比3億5,621万円 (13.3%) 増

【主な増減理由】

令和5年度地方財政計画を踏まえて積算

- ・配当割交付金 6,900万円の増
- ・法人事業税交付金 5,400万円の増
- ・地方消費税交付金 2億900万円の増
- ・地方特例交付金 4,000万円の増

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
国庫支出金	38億3,149万円	▲13億2,877万円	▲25.8%
国庫負担金	28億7,040万円	▲3億7,903万円	▲11.7%
国庫補助金	9億4,297万円	▲9億4,978万円	▲50.2%
委託金	1,813万円	4万円	0.2%
県支出金	24億2,230万円	8,288万円	3.5%
県負担金	13億4,008万円	1億 808万円	8.8%
県補助金	8億9,753万円	3,034万円	3.5%
委託金	1億7,468万円	▲5,554万円	▲24.1%
県貸付金	1,000万円	—	0.0%

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
地方譲与税	3億4,085万円	▲1,320万円	▲3.7%
利子割交付金	200万円	▲500万円	▲71.4%
配当割交付金	1億 800万円	6,900万円	176.9%
株式等譲渡所得割交付金	5,100万円	900万円	21.4%
法人事業税交付金	2億1,500万円	5,400万円	33.5%
地方消費税交付金	22億 900万円	2億 900万円	10.5%
環境性能割交付金	1,800万円	▲500万円	▲21.7%
地方特例交付金	9,000万円	4,000万円	80.0%
交通安全対策特別交付金	963万円	▲159万円	▲14.1%
合計	30億4,348万円	3億5,621万円	13.3%

令和5年度歳出総額は431億9,000万円です。市債の借入額と返済額を同額で計上している借換分を除く実質的な予算額は376億9,685万円であり、令和4年度と比較して2.0%（7億8,846万円）の減となっています。

借換分を除く実質的な予算額の目的別対前年度増減額をみると、全天候型子ども遊戯施設の本体工事着手等により民生費が、ふるさと応援寄附金の増等により総務費が、勤労者総合福祉センター（あおぞら）改修事業の実施により労働費が、それぞれ増っています。

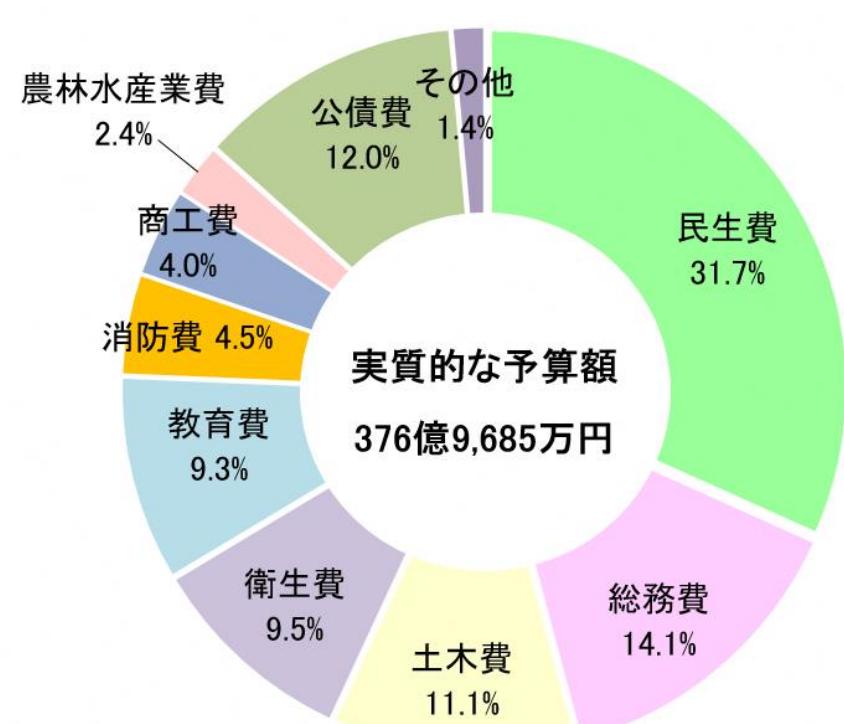
一方、吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の大規模改修事業の完了等により教育費が、新型コロナワイルスワクチン接種事業の皆減等により衛生費が、イノベーション拠点整備支援事業の皆減等により商工費が、それぞれ減っています。

■ 令和5年度 岁出（支出）の目的別内訳

区分	予 算 額	対前年度増減額	前年度比
民 生 費	119億5,549万円	7億 165万円	6.2%
総 务 費	53億2,650万円	3億8,288万円	7.7%
土 木 費	41億7,234万円	2億5,955万円	6.6%
衛 生 費	35億7,714万円	▲5億1,526万円	▲12.6%
教 育 費	34億9,301万円	▲14億9,655万円	▲30.0%
消 防 費	17億1,204万円	2,383万円	1.4%
商 工 費	15億 131万円	▲3億4,523万円	▲18.7%
農林水産業費	9億 414万円	5,704万円	6.7%
労 働 費	2億9,945万円	2億6,906万円	885.4%
公 債 費	100億 366万円 (45億1,051万円)	▲16億8,809万円 (▲1億1,955万円)	▲14.4% (▲2.6%)
そ の 他	2億4,492万円	▲588万円	▲2.3%
合 計	431億9,000万円 (376億9,685万円)	▲23億5,700万円 (▲7億8,846万円)	▲5.2% (▲2.0%)

※（ ）は借換分を除いた実質的な予算規模

■ 「実質的な予算額」の目的別割合



一般会計「歳出予算」（目的別）の主な増減理由

-16-

民生費 119億5,549万円 前年度比7億165万円（6.2%）増

- ・全天候型子ども遊戯施設建設事業 1億5,508万円の増
- ・サービス利用量の増等による障がい者介護給付費支給事業 1億1,053万円の増
- ・貫した伴走型支援に向けた出産・子育て応援事業 8,439万円の皆増

※上記のほか、令和4年度の国補正予算を活用した繰越事業として、
保育園等ICT化推進事業（1,541万円）をあわせて実施します。

総務費 53億2,650万円 前年度比3億8,288万円（7.7%）増

- ・ふるさと燕応援事業 3億7,500万円の増
- ・ふるさと燕応援基金積立金 1億2,499万円の増
- ・選挙費（参議院議員、県知事等）1億4,795万円の減

土木費 41億7,234万円 前年度比2億5,955万円（6.6%）増

- ・社会資本整備総合交付金事業 2億94万円の増
 - ・公園施設長寿命化計画策定事業 4,000万円の皆増
- ※上記のほか、令和4年度の国補正予算を活用した繰越事業として、
社会資本整備総合交付金事業（1億1,979万円）をあわせて実施
します。

農林水産業費 9億414万円 前年度比5,704万円（6.7%）増

- ・国上農村環境改善センター改修事業 1,912万円の増
 - ・県営土地改良事業 2,429万円の増
- ※上記のほか、令和4年度の国補正予算を活用した繰越事業として、
経営基盤強化促進対策事業等（8,033万円）をあわせて実施します。

労働費 2億9,945万円 前年度比2億6,906万円（885.4%）増

- ・勤労者総合福祉センター（あおぞら）改修事業 2億6,092万円の増

衛生費 35億7,714万円 前年度比5億1,526万円（12.6%）減

- ・新型コロナワイルスワクチン接種事業 6億6,499万円の皆減
- ・燕・弥彦総合事務組合負担金 4,602万円の増

教育費 34億9,301万円 前年度比14億9,655万円（30.0%）減

- ・吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業 10億920万円の皆減
 - ・令和4年度前倒し実施の石港遺跡発掘調査など埋蔵文化財事業 2億9,378万円の減
 - ・小学校プール解体・駐車場等整備事業 2億8,061万円の増
- ※上記のほか、令和4年度の国交付金を活用した繰越事業として、
燕西小学校外装等改修事業等（16億3,746万円）をあわせて実施
します。

商工費 15億131万円 前年度比3億4,523万円（18.7%）減

- ・イノベーション拠点整備支援事業 1億1,767万円の皆減
- ・燕応援フェニックスクーポン発行事業 1億6,780万円の皆減
- ・企業立地活性化事業 6,088万円の増

公債費 100億366万円 前年度比16億8,809万円（14.4%）減

- ・事業債償還元金 17億2,543万円の減
(借換分 15億6,854万円の減)
(借換分を除く事業債償還元金 1億5,689万円の減)
- ・事業債償還利子 3,734万円の増

一般会計「歳出予算」(性質別)の概要

-17-

借換分を除く実質的な予算額の性質別対前年度増減額をみると、義務的経費では、令和4年度の給与改定に伴う会計年度任用職員報酬の増等により人件費が増、障がい者介護給付費の増等により扶助費が増となっています。

投資的経費では、全天候型子ども遊戯施設の建設費のほか、小学校プール解体・駐車場等整備事業や勤労者総合福祉センター(あおぞら)改修事業が増加要因となっている一方、吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)の大規模改修事業の完了などにより普通建設事業費が減となっています。

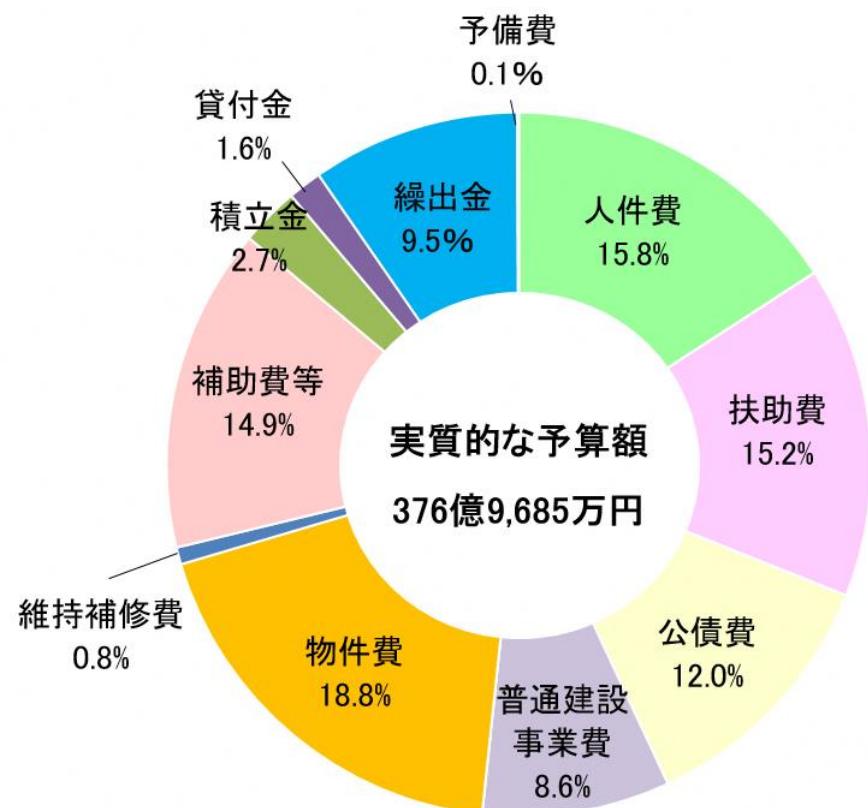
その他の経費では、ふるさと応援寄附金の増に伴い基金積立金が増、道路や庁舎の修繕料等の維持補修費が増となっています一方、新型コロナワクチン接種事業の皆減などにより物件費及び補助費等が減となっています。

■令和5年度歳出(支出)の性質別内訳

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
義務的経費	217億2,460万円 (162億3,145万円)	▲14億2,080万円 (1億4,774万円)	▲6.1% (0.9%)
人件費	59億6,653万円	1億8,198万円	3.1%
扶助費	57億4,441万円	8,531万円	1.5%
公債費	100億1,366万円 (45億2,051万円)	▲16億8,809万円 (▲1億1,955万円)	▲14.4% (▲2.6%)
投資的経費	32億4,859万円	▲7億8,930万円	▲19.5%
普通建設事業費	32億4,859万円	▲7億8,930万円	▲19.5%
災害復旧費	0万円	—	0.0%
その他経費	182億1,681万円	▲1億4,690万円	▲0.8%
物件費	70億6,957万円	▲1億2,267万円	▲1.7%
維持補修費	2億9,462万円	2,972万円	11.2%
補助費等	56億1,943万円	▲1億569万円	▲1.8%
積立金	10億1,993万円	1億2,858万円	14.4%
貸付金	5億8,578万円	▲9,028万円	▲13.4%
繰出金	35億9,748万円	1,344万円	0.4%
予備費	3,000万円	—	0.0%
合計	431億9,000万円 (376億9,685万円)	▲23億5,700万円 (▲7億8,846万円)	▲5.2% (▲2.0%)

※()は借換分を除いた実質的な予算規模

■「実質的な予算額」の性質別割合



一般会計「基金残高」の状況

-18-

基金全体の合計残高は、令和4年度末で75億5,790万円、令和5年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、51億4,382万円となっています。

財政調整基金残高は、令和4年度末で32億192万円、令和5年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、7億5,059万円となっていますが、今後、繰越金等を活用して積み戻していく予定です。

なお、財政調整基金、減債基金、ふるさと応援基金を合わせた財源対策的基金残高は、令和4年度末で70億6,207万円、令和5年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、47億154万円となっています。

■基金残高

区分	令和4年度 末残高見込	令和5年度当初予算額		令和5年度 当初予算時残高	市民1人当たり(円)	
		繰入金	積立金		R4末	R5当初
財源対策的基金	財政調整基金	32億 192万円	24億5,134万円	2万円	7億5,059万円	4万1,375円
	減債基金	9億1,762万円	—	1万円	9億1,763万円	1万1,857円
	ふるさと応援基金	29億4,253万円	8億5,924万円	9億5,003万円	30億3,332万円	3万8,023円
	小計	70億6,207万円	33億1,058万円	9億5,006万円	47億 154万円	9万1,255円
その他基金	ガス事業譲渡清算金活用基金	2億1,622万円	—	0万円	2億1,623万円	2,794円
	社会福祉事業基金	2,973万円	53万円	—	2,919万円	384円
	環境整備基金	112万円	20万円	0万円	92万円	14円
	森林環境保全基金	1,600万円	425万円	885万円	2,060万円	207円
	産業振興事業基金	913万円	—	0万円	913万円	118円
	仲治奨学基金	1億2,997万円	7,218万円	5,948万円	1億1,727万円	1,679円
	義務教育施設整備基金	162万円	—	0万円	162万円	21円
	子ども夢基金	7,411万円	4,427万円	0万円	2,984万円	958円
	入学準備金貸付基金	716万円	200万円	153万円	669万円	93円
	美術品取得準備基金	1,078万円	—	0万円	1,078万円	139円
小計		4億9,583万円	1億2,343万円	6,987万円	4億4,228万円	6,407円
合計		75億5,790万円	34億3,401万円	10億1,993万円	51億4,382万円	9万7,662円
						6万6,468円

※令和4年度末残高見込及び令和5年度当初予算時の数値は、令和4年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和4年度中の予算補正や事業費の確定等により変動することがあります。

※市民1人当たりの残高は、令和4年末人口(住基台帳人口)に基づき算出

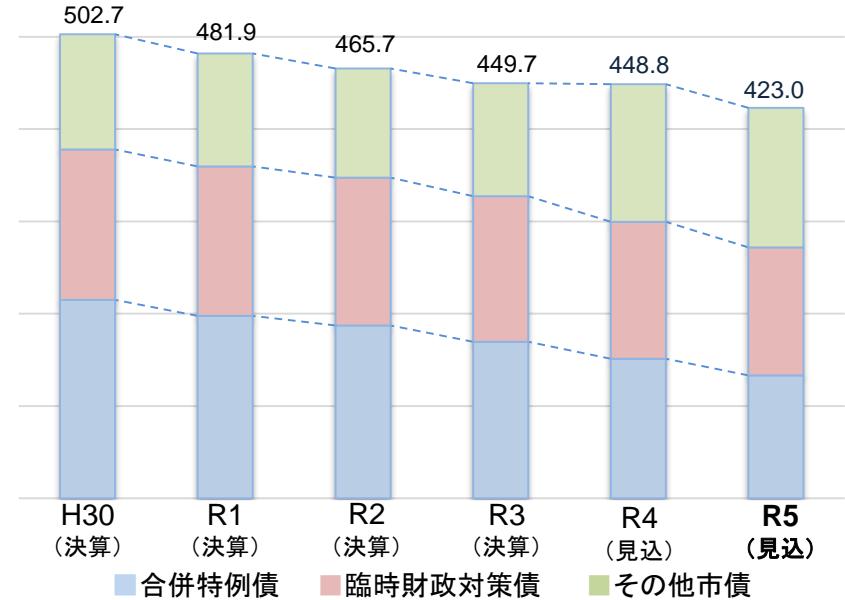
市債残高は、合併特例債や国の財源対策である臨時財政対策債の借入などに伴い平成30年度まで増加しましたが、その後は減少傾向にあります。

令和5年度においても、償還元金が借入額を上回ることにより、令和5年度末残高は前年度末から25億7,068万円減少した423億481万円となる見込みです。

今後も、ふるさと応援寄附金の活用などによる新規借入の抑制や、交付税措置のある有利な市債を積極的に活用するなど、次代を担う子どもたちに過大な負担を残すことがないよう、将来負担の抑制に努めます。

市債残高の推移

(単位：億円)



市債残高

区分	令和4年度末 残高見込	令和5年度当初予算額		令和5年度 増減額	令和5年度末 残高見込	構成 割合	市民1人あたり(円)	
		借入額	償還額				R4末	R5末
合併特例債	151億2,727万円	—	18億2,281万円	▲18億2,281万円	133億 446万円	31.4%	19万5,473円	17万1,919円
臨時財政対策債	148億3,522万円	4億 円	13億6,282万円	▲9億6,282万円	138億7,240万円	32.8%	19万1,699円	17万9,258円
その他市債	149億1,300万円	14億 90万円	11億8,595万円	2億1,495万円	151億2,795万円	35.8%	19万2,704円	19万5,482円
合 計	448億7,549万円	18億 90万円	43億7,158万円	▲25億7,068万円	423億 481万円	100.0%	57万9,876円	54万6,659円

※令和4年度及び令和5年度末残高見込の数値は、令和4年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和4年度中の予算補正や事業費の確定等により変動することがあります。

※市民1人あたりの残高は、令和4年末人口(住基台帳人口)に基づき算出

※令和5年度当初予算額(借入額と償還額)は、借換分を除く実質的な予算額

第3次燕市総合計画の 戦略体系に基づく主要事業

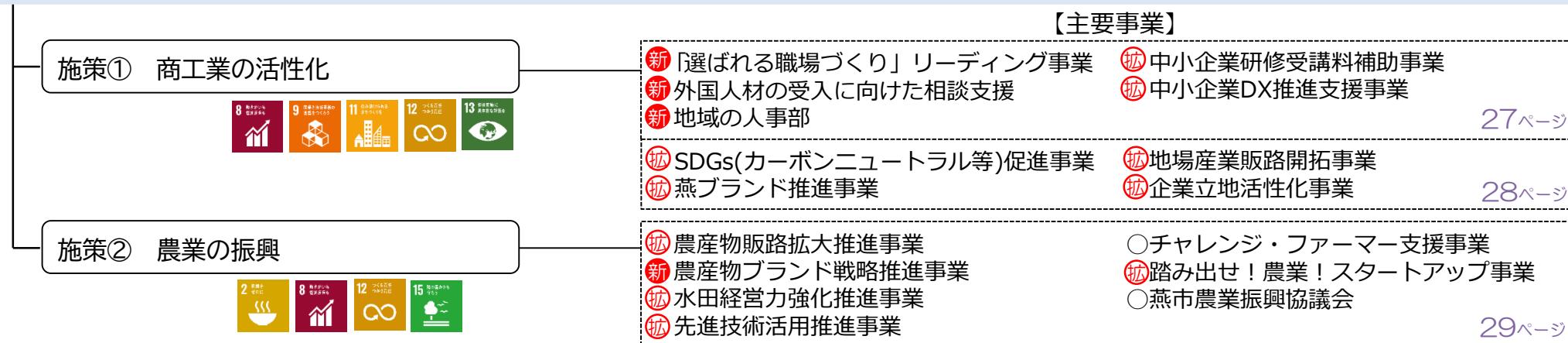
- 戦略 1 定住人口戦略
- 戦略 2 活動人口戦略
- 戦略 3 交流・応援（燕）人口戦略
- 戦略 4 人口戦略を支える都市環境の整備
- 戦略 5 持続可能な行財政運営の推進



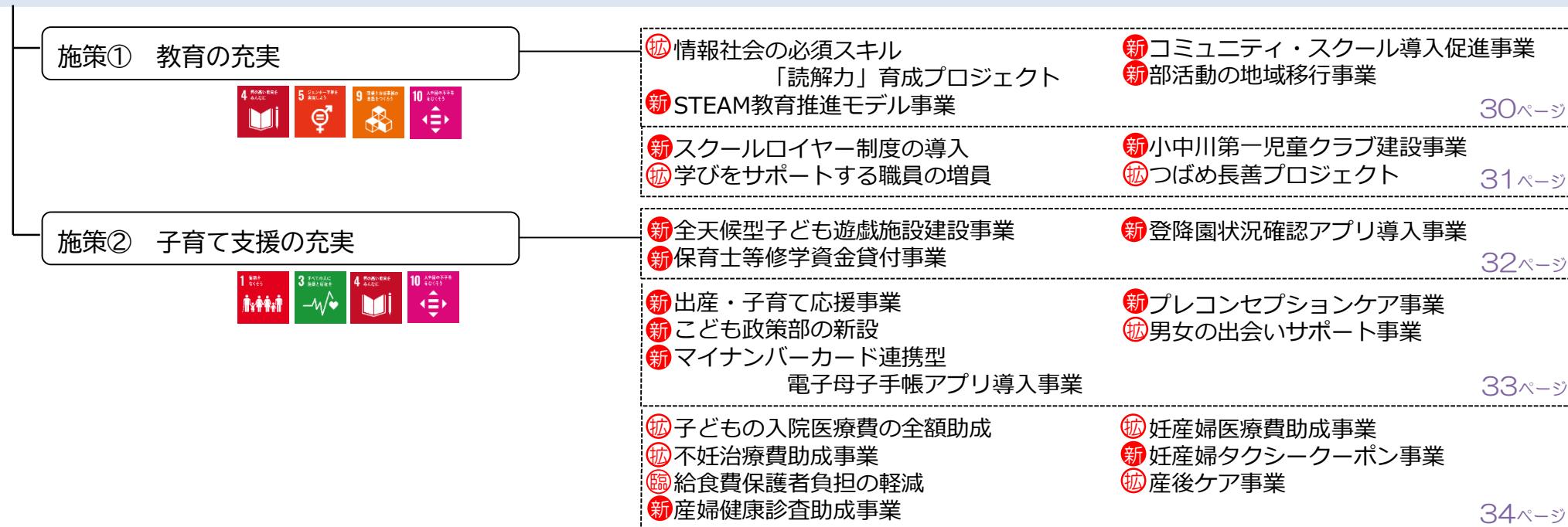
次ページ以降の体系図には、それぞれの
施策の推進を図ることで目標に貢献できる
SDGs のアイコンを表示しています。

戦略1 定住人口戦略

基本方針（1）活力ある産業の振興



基本方針（2）次代につなぐ教育の推進・子育て支援



基本方針（3）健やかに暮らせる医療福祉の充実

施策① 保健医療体制の強化



- 新 県央基幹病院での病児・病後児保育事業
- 新潟大学消化器疾患予防医学開発講座
- 新 子どもの入院医療費の全額助成【再掲】
- 看護職員修学資金貸付事業

- 市内医療機関休日在宅当番医制事業
- 西蒲原地区休日夜間急患センター運営事業
- 県央医師会応急診療所運営事業

35ページ

施策② 高齢者福祉の充実



- 新 高齢者の権利擁護アドバイザー事業
- 新 認知症地域支えあい事業 なじらね燕
チームオレンジの整備
- 新 自立支援ケアプラン研修会

- 人生100年時代の健康サポート事業
- 新 第9期介護保険事業計画等策定事業
- 新 介護保険認定調査モバイル導入事業
- 新 在宅医療・介護連携アプリ導入事業

36ページ

施策③ 障がい福祉の充実



- 新 障がい者地域生活支援拠点等運営事業
- つばめバリアフリーフェス
- 新 作業受委託マッチング促進事業
- 新 授産品新商品開発・販路開拓等支援補助金
- 新 障がい者基本計画等策定事業

- 新 障がい者タクシー利用料及び
自動車燃料費助成事業
- 新 身体障がい者（児）
日常生活用具給付事業

37ページ

基本方針（4）地域に根付く移住・定住の促進

施策① 移住・定住希望者への支援



- 新 つばめ移住・定住促進事業
- 新 移住家族支援事業

- 新 定住家族支援事業
- 新 ふるさと燕若者応援事業

38ページ

戦略2 活動人口戦略

基本方針（1）いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

施策① 健康づくりの推進



- 新 医療用補正具購入費助成事業
- 新 健康・子育てLINE導入事業
- こころの健康スワロー運動

- 新 つばめ元気かがやきポイント事業
- 新 健康増進計画・食育推進計画・
歯科保健計画策定事業

39ページ

施策② スポーツの推進



- 新 B&G海洋センター改修事業
- 既 品 第2次スポーツ推進計画策定事業
- 学校開放施設ナイター設備改修事業
- 分水多目的屋内運動場改修事業
- 新 部活動の地域移行事業【再掲】

- 燕さくらマラソン大会
- ゆめみらいスポーツ教室
- つばめ野球クリニック・トークショー

40ページ

施策③ 生涯学習・文化活動の充実



- 新 新分水良寛史料館基本構想策定事業
- 既 品 第3次生涯学習推進計画策定事業
- 新 大河津分水通水100周年記念
声優朗読劇書籍化事業

- 新 偉人漫画活用事業
- つばめっ子かるた大会
- 既 品 文化会館自主事業

41ページ

基本方針（2）つながり、支え合う地域社会の実現

施策① 地域福祉の推進



- 新 ヤングケアラーサポート事業
- 既 品 子どもの居場所づくり支援事業
- 生活困窮者自立支援事業

- フードドライブ事業
- 既 品 地域福祉セミナー開催事業
- 新 成年後見制度利用促進
中核機関運営事業

42ページ

施策② 市民活動の活性化



- 新 自治会コミュニティ運営応援事業
- 既 品 協働のまちづくり推進事業

- まちづくり協議会支援事業

43ページ

基本方針（3）一人ひとりが活躍できるまちづくり

施策① 若者活動の活発化

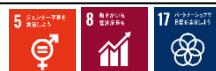


- 既 品 つばめ若者会議事業

- 羽ばたけつばくろ応援事業

43ページ

施策② 誰もが活躍しやすい環境づくり



- 既 品 つばめ子育て応援企業サポート事業
- 既 品 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

- 既 品 第4次燕市男女共同参画
推進プラン策定事業

44ページ

施策③ 人権尊重・多文化共生のまちづくり



- 既 品 第2次燕市人権教育・啓発推進
計画策定事業

- 既 品 多文化共生事業

44ページ

戦略3 交流・応援（燕）人口戦略

基本方針（1）魅力あふれる観光の振興

施策① 着地型観光の振興



■ 産業史料館50周年記念事業
 ■ 新 燕青空即売会ツアー造成支援事業
 ■ 新 燕ソウルフード観光プロモーション事業

■ 燕市産業観光魅力創出支援事業
 ■ 新 産業観光ツアー造成支援事業
 ■ 拡 インバウンドプロモーション事業 45ページ

■ 道の駅「国上」周辺駐車場及び公園の整備
 ■ 国上山森林フェア
 ■ 国上農村環境改善センター改修事業
 ■ 国上山観光の活性化
 ■ 道の駅「国上」でのイベント開催

46ページ

基本方針（2）つながりを活かした燕市のファンづくり

施策① 広域連携・都市交流の推進



■ 新 県央基幹病院での病児・病後児保育事業
 ○ 燕・弥彦地域定住自立圏推進事業
 【再掲】

47ページ

施策② 「ふるさと燕」のファン拡大



■ 拡 ふるさと燕応援事業
 ○ 自治体クラウドファンディング事業

■ 拡 応援（燕）人口拡大創出事業
 ■ 拡 シティプロモーション事業

47ページ

戦略4 人口戦略を支える都市環境の整備

基本方針（1）安全で安心して暮らせるまちづくり

施策① 災害に強いまちづくり



■ 拡 地域防災活動推進事業
 ○ 固定電話への防災情報配信事業

○ 防災備蓄整備事業

48ページ

施策② 防犯・交通安全の推進



- 園児通行ルート安全対策事業
- 高齢者免許証自主返納支援事業
- 交通安全指導強化事業

- 防犯カメラ設置補助事業
- 犯罪被害者等支援事業

48ページ

施策③ 良好的な生活環境の保全



新MONO² (モノモノ) リユース事業

- カンカンBOOK事業
・福服BOOK事業

49ページ

施策④ 脱炭素社会づくり



- 既**環境基本計画策定事業
- 新**自家消費型太陽光発電利用促進補助事業
- 新**メガソーラー発電所の設置

- 新**道路照明LED化事業
- 小風力発電活用可能性調査事業
- 住宅エコリフォーム支援事業

49ページ

基本方針（2）持続可能な都市基盤の構築

施策① 空き家対策とまちなかの賑わいづくり



- 新**中心市街地再生モデル事業補助金
- 商店街店舗リノベーション促進事業
- まちなかにぎわい創出事業

- 空き家跡地活用促進事業
- 既**立地適正化計画改定事業

50ページ

施策② 道路・公園の整備



- 既**修繕料（道路維持費）等
- 新**広域6号線交差点改良事業
- 既**橋梁修繕事業

- 既**公園施設長寿命化計画策定事業
- 新**Park-PFI整備事業

51ページ

施策③ 公共交通の利便性向上



- 新**バス路線の見直し事業
- 新規バス路線導入
(コミュニティバス実証運行) 事業

- 新**バス待ち環境改善事業
- 既**燕・弥彦地域公共交通計画策定事業
- 新**きららん号予約システム更改事業

52ページ

施策④ 水道水の安定供給と汚水処理の効率化



- 浄水場施設再構築事業
- 老朽管路更新事業
- 新**下水終末処理場し尿受入整備事業

- 既**下水道経営改善戦略策定事業
- 公共下水道整備（未普及対策）事業
- 既**合併処理浄化槽転換促進事業

53ページ

戦略5 持続可能な行財政運営の推進

-26-

基本的方向（1）財政力の向上

自治体DXの推進

9 行政DX推進事業
新規事業11 行政DX推進事業
拡充事業

公的資産のマネジメント

11 公的資産マネジメント事業
新規事業12 公的資産マネジメント事業
新規事業

基本的方向（2）行政力の向上

- 新 DX推進体制の強化
- 新 市議会運営のデジタル化
- 新 電子契約システムの導入
- 新 市民窓口のキャッシュレス化

- 新 小学校プール解体・駐車場等整備事業
- 建物系公共施設保有量適正化事業

基本的方向（3）職員力の向上

- 新 マイナンバーカード連携型電子母子手帳アプリの導入事業【再掲】
- 新 登降園状況確認アプリ導入事業【再掲】

54ページ

- 公営住宅整理事業

54ページ

新 = 新規事業 新 = 拡充事業 新 = 臨時的事業 ○ = 繼続事業

【SDGsの17の目標のアイコン】



- ① 多様な人材が活躍できるよう職場環境の整備を支援するほか、人材のマッチングを促進します。
- ② 技術基盤の維持・強化に向けた職業能力の開発を支援します。
- ③ 市内企業のDXを支援し、生産性向上と競争力強化を図ります。

多様な人材が活躍できる職場環境の整備

「選ばれる職場づくり」リーディング事業 **新** (つばめJOBサポート事業) 【予算額】500万円 (予算書P.129)

市内企業が職場環境の改善のために自らテーマを設けて取り組む事業を補助します。また、取組の様子をレポート化して発信することで他の企業への横展開を図ります。

- ◆対象経費：
業務属人化の解消に向けた業務棚卸しや
マニュアル整備のコンサル費用等
- ◆補助率：2/3
- ◆上限額：100万円

【担当課】商工振興課

外国人材の受入に向けた相談支援 **新** (つばめJOBサポート事業) 【予算額】23万円(予算書P.129)

外国人材の受け入れに悩みを抱える市内企業のために、専門家による相談・対応体制を作るとともに、実績ある企業による個別相談会を開催します。

【担当課】商工振興課

地域の人事部 **新** (つばめJOBサポート事業) 【予算額】100万円 (予算書P.129)

事業課題を抱える市内企業に対し、商工関係団体や金融機関との連携により兼業・副業人材をはじめとした外部人材をマッチングし、課題解決と事業の成長を支援します。
また、成功事例をロールモデルとして発信し、参加企業の拡大を図ります。

【担当課】商工振興課



職業能力の開発促進

中小企業研修受講料補助事業 **拡** (地場産業振興一般事業) 【予算額】150万円(予算書P.143)

市内中小企業の従業員の製造技術や管理技術等の職業能力の開発を支援し、技術基盤の維持・強化を図ります。

- ◆補助対象となる研修機関を拡充

【担当課】商工振興課

生産性の向上

中小企業DX推進支援事業 **拡** 【予算額】2,033万円 (予算書P.145)

IoT・AI・センシング、クラウドサービス等を活用した業務の自動化・効率化など、市内中小企業のDXを支援し、生産性向上や競争力強化を図ります。

★学生×企業のマッチング事業 **新**

工学・情報技術専攻の大学生と市内企業で、意見交換や工場見学などを実施し、デジタル技術を活用した企業の課題解決を図ります。

★DX生産性向上促進補助金

- ◆対象経費：システム導入費、コンサル費、
DX人材育成・教育費等

- ◆補助率：1/2
- ◆上限額：100万円

★DX販路拡大支援補助金

- ◆対象経費：販路拡大のためのホームページの作成又は機能強化費、動画作成費
- ◆補助率：1/2～1/3
- ◆上限額：30～15万円

【担当課】商工振興課

- ④ 市内企業のSDGs（カーボンニュートラル等）の取組や高付加価値化を支援し、産地全体のブランド化を図ります。
- ⑤ 市内企業の見本市等への出展を支援し、販路開拓と顧客獲得を促進します。
- ⑥ 市外企業の誘致や用地開発による企業立地、新たな事業の創出を促進します。

産地全体のブランド化

SDGs（カーボンニュートラル等）

促進事業 拡

【予算額】509万円 (予算書P.145)



★省エネ診断支援補助金 新

市内中小企業の省エネ最適化診断等の費用を補助し、省エネのための既存設備の運用改善や省エネ設備の導入につなげ、カーボンニュートラルを促進します。

◆上限額：2万円 【担当課】商工振興課

燕ブランド推進事業 拡

【予算額】502万円 (予算書P.143)

デザインコンクールの開催を通して、燕ブランドの強化と情報発信を図ります。

★ジャパン・ツバメ・インダストリアル デザインコンクール

◆賞金：グランプリ（1点）50万円 ほか

◆県内の大手百貨店で受賞製品を販売・PR

★若monoデザインコンペティション燕

◆賞金：大賞（3点）30万円

◆大手コンテスト情報サイトでデザインを募集

【担当課】商工振興課

販路開拓の支援

地場産業販路開拓事業 拡

【予算額】3,154万円 (予算書P.143)

コロナ禍で縮小していた対面型の見本市の本格的な再開が見込まれることから、出展小間料を補助することで、市内中小企業の国内外における販路開拓と顧客獲得を支援します。

★見本市出展小間料補助金

◆補助率：1/2

◆上限額：25万円

◆補助回数：

1事業者あたり2回/年度まで

※ジャパン・ツバメ・インダストリアル
デザインコンクールの受賞企業は3回までに拡充



★海外見本市出展サポート事業補助金

◆補助率：1/2

◆上限額：

初回75万円、2回目50万円、3回目25万円

◆補助回数：1事業者あたり1回/年度まで

【担当課】商工振興課

企業誘致・事業創出の促進

企業立地活性化事業 拡

【予算額】1億2,678万円 (予算書P.151)

★外部専門人材による企業誘致 新

外部専門人材を活用し、首都圏を含む市外企業に対し市内シェアオフィス等への誘致を図るほか、誘致企業と市内企業の連携による事業創出を目指します。

※地域活性化起業人制度を活用

★産業用地開発事業奨励金 新

立地を希望する企業や開発用地の地権者との交渉、造成工事の全てを取りまとめて実施するデベロッパー等を対象に、開発用地の面積に応じて奨励金を交付します。

◆対象要件：

①重点促進区域の用地であること

②用地面積が3,000m²以上

③工場等建築面積が用地面積の20%以上 等

◆交付金額：開発用地1m²あたり1,000円

◆上限額：500万円

【担当課】商工振興課

- ① 燕市産農産物の販路拡大やブランド化を支援し、農業所得の向上を図ります。
- ② 脱炭素社会に対応した取組や、先進技術の活用による農業の効率化・省力化を推進します。
- ③ 農業の担い手確保に向けた支援を行います。

販路拡大・ブランド化による農業所得の向上

農産物販路拡大推進事業 拡

【予算額】1,363万円 (予算書P.135)

★つばめ食べて応援キャンペーン

燕市産農産物の認知度向上と消費活性化のためのキャンペーンを実施します。

◆飲食店等への来店キャンペーンを追加



★つばめ農業まつり

令和5年度に吉田地区に開場を予定している新印青果西部卸売市場を会場として、生産者と消費者の交流イベントを開催します。

【担当課】農政課

農産物ブランド戦略推進事業 新

【予算額】79万円 (予算書P.135)

燕市内の園芸作物で生産量が多いトマトのブランド化や販路開拓を支援します。

- ◆加工品開発支援
- ◆研究会の創設 等 【担当課】農政課



水田経営力強化推進事業 拡

【予算額】5,450万円 (予算書P.137)

水田を活用した収益性の高い作物の作付等に対して助成を行います。

◆対象作物を追加

麦、米粉用米：1万円/10a 【担当課】農政課

担い手の確保

踏み出せ！農業！スタートアップ事業 拡

【予算額】260万円 (予算書P.135)

★新規就農者支援補助金 新

経営基盤を持たない新規参入者の機械設備等の導入に対する補助メニューを創設します。

◆補助率：1/2 ◆上限額：100万円

★農業体験支援事業 新

農業を志す人を増やすため、農業体験会を開催する農業者に支援金を支給します。

◆支給額：農業体験会1回あたり1万円

【担当課】農政課

脱炭素社会に向けたスマート農業の推進

先進技術活用推進事業 拡

【予算額】71万円 (予算書P.135)

ドローンやICTをはじめとした先進技術の活用による農作業の効率化・省力化を推進します。

◆実証実験・勉強会の開催

◆未導入農家に対する導入相談会の開催

【担当課】農政課

チャレンジ・ファーマー支援事業

【予算額】1,550万円 (予算書P.135)

先進技術の導入のほか、農業経営の効率化や規模拡大に必要な機械等の導入を支援します。

◆補助率：1/4 (若手枠は1/2)

◆上限額：先進技術導入支援 100万円

規模拡大支援 150万円 等

【担当課】農政課

総合的な農業施策の検討

燕市農業振興協議会（農業総務費）

【予算額】40万円 (予算書P.133)

市内農産物の生産・販売・消費に関する戦略的、効果的な施策を実現するため、現状把握や課題整理、打開策の検討を行います。

【担当課】農政課



- ① 読み解く力の育成やSTEAM[※]教育の推進を通して、子どもたちの学力向上と生きぬく力の育成につなげます。
- ② コミュニティスクールの導入や部活動の段階的な地域移行により、子どもたちの学びを地域ぐるみで支えます。

時代の変化に対応した能力の育成

情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト 拡

【予算額】 779万円 (予算書P.179)

AIが進化する社会で自律して生きていくための力を養う「読解力」育成プロジェクトが3年目を迎えます。令和5年度は、リーディングスキルテストの実施をはじめとしたこれまでの取り組みに加え、読解力育成を補完する「認知機能強化トレーニング」の手法を新たに取り入れ、児童生徒の学力向上を図ります。

◆認知機能強化トレーニングの実施

※言語理解、記憶、知覚、注意、判断、推論といった認知機能の要素を強化する学習

- ◆リーディングスキルテストの実施（小学6年生、中学1～3年生）
- ◆リーディングスキルテストの調査結果分析
- ◆教員向け研修会 ◆指導主事等による先進自治体視察 等

【担当課】学校教育課



STEAM教育推進モデル事業 新

【予算額】 250万円 (予算書P.181)

急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成するSTEAM教育を推進するためのモデル事業を、民間企業との協働により実施します。

◆モデル校：燕中学校

◆期間：2～3年間

【担当課】学校教育課



※STEAM（スティーム）とは、
 S : Science (科学)
 T : Technology (技術)
 E : Engineering (工学)
 A : Arts (芸術)
 M : Mathematics (数学)
 の5つの分野で構成されます。

地域で支える教育の推進

コミュニティ・スクール導入促進事業 新

【予算額】 112万円 (予算書P.179)

学校と地域が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、令和6年度までに市内全小中学校に導入するため、導入済みのモデル校を除く市内全小中学校にコミュニティ・スクール準備委員会を設置します。

【担当課】学校教育課



部活動の地域移行事業 新

【予算額】 563万円 (予算書P.191)

地域の実情に応じた休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域移行を進めるための検討委員会を設置するとともに、令和5年度は一部のスポーツで休日の地域活動を実施します。

【担当課】学校教育課



- ③ 子どもたちが安心して学習活動ができるよう、きめ細かな支援を行う体制を整備します。
- ④ 燕らしい特色ある教育を通して、子どもたちの個性を伸ばし、新たな学びへの興味・関心を育みます。

学びを支える体制整備

スクールロイヤー 制度の導入 新

(学校教育管理費)
【予算額】60万円 (予算書P.175)

学校等で発生する様々な問題に対し、弁護士からの法的な観点に基づく助言によって解決を図る「スクールロイヤー」制度を導入し、トラブル等の未然防止・早期解決を図ります。

【担当課】学校教育課



学びをサポートする職員の増員 拡

(学校教育管理費、スクールソーシャルワーカー等派遣事業、学校管理費)
【予算額】1億6,890万円
(予算書P.173、181、185、189)

子どもたちの学校での活動や学習を支援する「学校介助員」や、教職員が教育活動に専念できるよう庶務作業等を分担する「スクール・サポート・スタッフ」等を増員して配置します。

◆学校介助員：66人 ⇒ 72人

◆スクール・サポート・スタッフ：3人 ⇒ 6人

◆スクールソーシャルワーカー：1人 ⇒ 2人

◆スクールカウンセラー：0人 ⇒ 1人

【担当課】学校教育課

小中川第一児童クラブ建設事業 新

【予算額】615万円 (予算書P.101)
【事業期間】令和5年度～6年度

老朽化した施設の解体と隣接地への移転・新築を行い、子どもたちが快適に利用できる環境を整備します。建て替え期間中は、児童クラブ機能を維持するため、小中川公民館で受け入れを行います。

【担当課】学校教育課



燕らしい特色ある教育の推進

つばめ長善プロジェクト 拡

燕市独自の教育プログラムを実施し、子どもたちが自分の良さを伸ばしたり、新たな可能性を広げたりすることを応援します。

★Jack & Bettyプロジェクト 拡

【予算額】3,273万円 (予算書P.173)

英語への興味・関心を高め、英語によるコミュニケーション能力を向上させるレッスンを行い、グローバル社会で活躍する人材を育成します。

◆対象：小学4年生～中学3年生

⇒小学1年生～中学3年生

【担当課】学校教育課



★つばくろロボキッズ教室 拡

(燕ロボット・プログラミング教室事業)
【予算額】83万円 (予算書P.179)

プログラミング的思考を働かせながら、自律動作型ロボットを操作する活動を通して、プログラミングに対する興味・関心や学び続ける意欲を高めます。

◆対象：小学4～6年生 ⇒ 小学3～6年生

【担当課】学校教育課

★長善館学習塾 拡

【予算額】83万円 (予算書P.177)

様々な体験活動や人との関わりを通して、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。

◆内容：

南魚沼キャンプ体験、
市PR動画制作 等

◆南魚沼キャンプの
参加料を無料化

【担当課】学校教育課



★広報つばめ「子ども記者」(広報広聴費)

【予算額】140万円 (予算書P.63)

子どもたちが自ら記事の企画・取材・編集を行い「広報つばめ子ども版」を制作することを通して、燕市への愛着心や自主性・協調性を育みます。 【担当課】広報秘書課

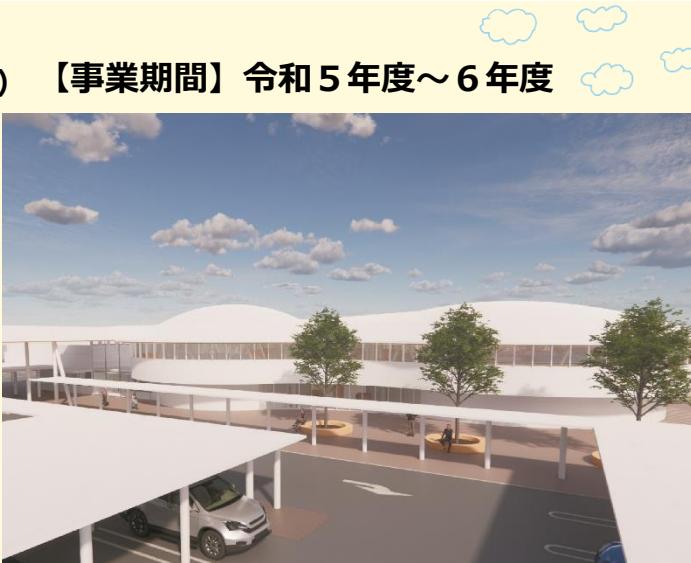
- ① 子どもたちが季節や天候に関わらず、思いっきり遊ぶことのできる全天候型子ども遊戯施設を整備します。
- ② 安心して子育てできる保育サービスの充実に向けて、保育士の確保・定着や業務のICT化に取り組みます。

安心して子どもが過ごせる子育て環境の充実

全天候型子ども遊戯施設建設事業 新

【予算額】 7億2,763万円 (予算書P.105)

【事業期間】 令和5年度～6年度



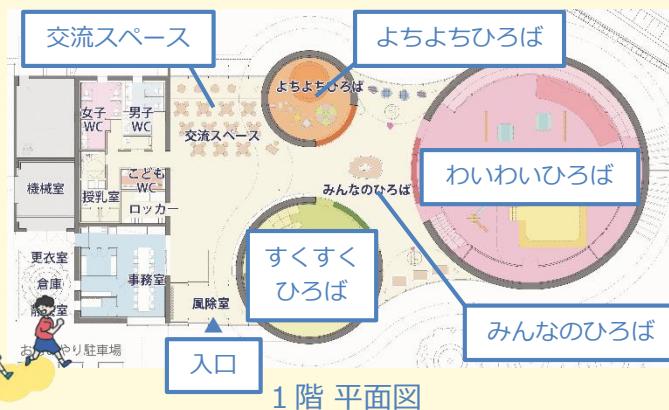
子育て環境のさらなる充実を図るため、季節や天候に関わらず、子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる全天候型の屋内遊戯施設を整備します。

令和5年度から本体工事を開始し、令和6年度中のオープンを目指します。

◆令和5年度：

本体工事、地盤改良工事 等

【担当課】 こども未来課



保育士等修学資金貸付事業 新

【予算額】 601万円 (予算書P.99)

保育士・保育教諭不足の解消と人材の地元定着を図るために、市内で保育士を目指す学生に対して修学資金の貸し付けを行います。

- ◆新規募集：10名程度
- ◆貸与月額：5万円・4万円・3万円から選択
- ◆貸与期間：在学する学校や養成施設の正規の修学期間
- ◆返還免除：卒業後、5年間継続して市内の保育園や認定こども園等の施設にて保育・教育業務に従事した場合に返還を免除

【担当課】 こども未来課

登降園状況確認アプリ導入事業 新

(保育園等ICT化推進事業)

【R4繰越予算額】 1,542万円

QRコードによる登降園の登録や、アプリから子どもの遅刻・欠席連絡が可能なシステムを導入し、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図ります。

【担当課】 こども未来課

- ③ 妊娠から出産、子育てまで一貫した、子育て世帯に寄り添った切れ目のない支援を行います。
- ④ 将来の結婚・出産・子育てをはじめとしたライフデザインの形成を支援します。

切れ目のない子育て支援体制の構築

出産・子育て応援事業 新

【予算額】8,439万円 (予算書P.107)

すべての妊娠・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と、出産育児用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担軽減を図る「経済的支援」を一体的に実施します。

- ◆出産応援給付金：妊婦1人あたり5万円
- ◆子育て応援給付金：子ども1人あたり5万円

【担当課】子育て応援課

こども政策部の新設 新

【予算額】ゼロ予算

妊娠から出産、子育てまでの支援を一体的に行う「こども政策部」を新設し、「子育てするなら燕市で」と評価されるよう各種施策を総合的に展開します。

【担当課】こども未来課、
子育て応援課



マイナンバーカード連携型 電子母子手帳アプリ導入事業 新 (母子保健衛生事業)

【予算額】200万円 (予算書P.117)

母子保健のさらなる充実を図るために、マイナンバーカードと連携可能な母子手帳アプリを導入するとともに、導入済みの健診等予約システムも活用し、子どもの予防接種記録や健診結果等の健康情報を集約化します。

◆導入時期：令和5年10月予定

【担当課】子育て応援課

若者へのライフデザイン支援

プレコンセプションケア事業 新

【予算額】16万円 (予算書P.117)

将来の妊娠・出産に向けた健康づくりの大しさやライフデザインを考えるきっかけづくりとして、市内在学の高校3年生や市内在住・在勤の若者を対象に、助産師や産婦人科医によるプレコンセプションケア（妊娠前のヘルスケア）セミナーを開催します。

【担当課】子育て応援課



男女の出会いサポート事業 拡

【予算額】148万円 (予算書P.67)

男女の出会いの場として婚活イベントを官民連携で開催するとともに、結婚・妊娠・出産をはじめとした人生設計をテーマとしたセミナーを新たに開催します。

◆ライフデザインセミナー

◆婚活イベント「つばコン」

◆婚活コーディネーターによる相談

◆応援企業の募集

【担当課】地域振興課



- ⑤ 各種医療費助成を拡充するなど、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。
- ⑥ 産前・産後の様々な負担軽減に向けた支援の強化を図ります。

経済的負担の軽減

子どもの入院医療費の全額助成 拡

【予算額】4億2,688万円
(予算書P.83、91、115、117)

18歳までの子どもを対象に入院医療費助成を全額助成に拡充し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

- ◆ 対象：18歳までの子ども
 (18歳になった年度末まで)
- ◆ 1日あたり自己負担：1,200円 ⇒ 0円

- ◆ 開始時期：R5.4月診療分から
 (受給者証更新までは償還払い)

- ◆ 医療費助成の種類：
 - ・子ども医療費助成事業
 - ・ひとり親家庭等医療費助成事業
 - ・重度心身障がい者医療費助成事業
 - ・未熟児養育医療給付事業

【担当課】保険年金課



不妊治療費助成事業 拡

【予算額】1,266万円 (予算書P.117)

保険適用となつた不妊治療に要する費用について全額助成を行い、早期の治療開始と経済的負担の軽減につなげます。

【担当課】子育て応援課

給食費保護者負担の軽減 臨

(保育園運営費、私立認可保育所経費、私立認定こども園経費、給食センター管理運営費)

【予算額】3,720万円

(予算書P.95、97、99、213)

園・学校における給食材料費の価格上昇相当分を市が負担することで給食費を据え置き、保護者の経済的な負担の軽減を図ります。

【担当課】こども未来課、学校教育課



妊産婦への支援強化

産婦健康診査助成事業 新

(母子健康診査事業)

【予算額】500万円 (予算書P.115)

出産後の2週間健診と1か月健診にかかる費用の一部を助成します。

- ◆ 助成額：各健診につき上限5,000円
- 【担当課】子育て応援課

妊産婦医療費助成事業 拡

【予算額】3,059万円 (予算書P.115)

妊産婦が負担する医療費について、その全額を医療機関の窓口で助成し、経済的な負担の軽減を図ります。

- ◆ 受給者証のデジタル化（令和5年10月予定）

【担当課】保険年金課、健康づくり課

妊産婦タクシーカーポン事業 新

(母子健康診査事業)

【予算額】600万円 (予算書P.115)

妊婦・産婦健診受診時の移動を支援するため、タクシーカーポンを発行します。

- ◆ 妊婦 1人につき 1万2,000円
 (1,000円券×12枚)

【担当課】子育て応援課

産後ケア事業 拡

【予算額】53万円 (予算書P.117)

出産後の体調回復期において産後ケアサービスを受けやすくするため、サービス利用料に対する助成額を増額します。

- 〈市民税非課税世帯〉
- ◆ 宿泊型：1万円 ⇒ 1万5,000円
- ◆ デイサービス型：3,000円 ⇒ 8,000円
- 〈市民税課税世帯〉
- ◆ 宿泊型：1万円 ⇒ 1万2,500円
- ◆ デイサービス型：3,000円 ⇒ 5,500円
- 【担当課】子育て応援課



- ① 県や関係市町村と協力しながら、県央基幹病院と連携した保健医療体制の強化を図ります。
- ② 持続可能な医療体制が構築されるよう、看護職員の確保および地元定着の促進を図ります。
- ③ 地域住民が安心できる救急医療体制の強化を図ります。

安心できる医療体制の整備

県央基幹病院での病児・病後児保育事業 **新**(病児・病後児保育事業)

【予算額】544万円 (予算書P.105)

病気の児童や回復期にある児童の預かりを、これまでの小児科医院に併設した保育施設に加え、三条市との連携のもと、令和6年3月開院予定の県央基幹病院でも新たに実施します。

【担当課】こども未来課



新潟大学消化器疾患予防医学開発講座 (総合医療対策費)

【予算額】680万円 (予算書P.121)

県央地域の消化器疾患の健診・教育・予防体制の充実を目指し、県、弥彦村とともに新潟大学に寄附講座を設置することで、県立吉田病院において医師の確保を図ります。

【担当課】健康づくり課



子どもの入院医療費の全額助成 **拡** 【再掲34ページ】 【担当課】保険年金課

看護職員の確保・定着

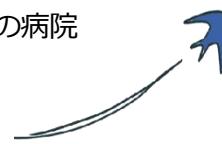
看護職員修学資金貸付事業

【予算額】1,561万円 (予算書P.121)

将来、地元で看護師を目指す学生に対して修学資金の貸し付けを行うことで、令和6年3月開院予定の県央基幹病院など、県央地域における看護師の人材確保と地元への定着を図ります。卒業後、市が指定する医療施設に5年間継続して勤務した場合は修学資金の返還を免除します。

- ◆新規募集：10名程度
- ◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択
- ◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修学期間（最大5年間）
- ◆指定医療施設：県央基幹病院、燕市内の病院

【担当課】健康づくり課



夜間・休日の医療体制の確保

市内医療機関休日在宅当番医制事業 (総合医療対策費)

【予算額】300万円 (予算書P.121)

市内医療機関が、輪番制で休日に診療する体制を確保するための費用を助成します。

【担当課】健康づくり課



西蒲原地区休日夜間急诊センター運営事業

旧西蒲原地区における救急医療体制の充実を図るとともに、必要に応じて診療所の運営費を助成します。

【担当課】健康づくり課

県央医師会応急診療所運営事業 (総合医療対策費)

【予算額】140万円 (予算書P.121)

県央医療圏における救急医療体制の充実と運営支援のため、診療所の運営費を助成します。

【担当課】健康づくり課



- ① 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、地域住民が認知症を理解し、支え合う体制を構築します。
- ② 市民の健康寿命の延伸を目指し、人生100年時代における健康づくりを推進します。
- ③ 介護保険制度の円滑な運営に向け、ニーズを踏まえた介護サービスの充実と給付の適正化を図ります。

地域での認知症支援の拡充

高齢者の権利擁護アドバイザー事業 新
**(包括的・継続的
ケアマネジメント支援事業費)**
【予算額】27万円(予算書P.303)

新潟県弁護士会が、地域包括支援センターを定期的に訪問し、事例検討等を通じて連携を図ることで、高齢者の権利を守る体制の構築を図ります。

【担当課】長寿福祉課



**認知症地域支え合い事業 なじらね燕
チームオレンジの整備** 新
(認知症総合支援事業)
【予算額】1,573万円(予算書P.303)

認知症の人とその家族を地域の支援者につなぐ仕組みの「チームオレンジ」を整備します。

- ◆ 認知症地域支援推進員の増員
- ◆ 認知症サポーター養成講座やステップアップ研修の開催
- ◆ 燕市社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携

【担当課】長寿福祉課



介護予防事業の推進

自立支援ケアプラン研修会 拡
(地域リハビリテーション活動支援事業)
【予算額】12万円(予算書P.301)

ケアプラン作成研修会の開催に加え、理学療法士などのリハビリ専門職が、ケアマネジャーと一緒に訪問し、対象者へ直接助言をすることで、対象者の自立支援と介護予防につなげます。

- ◆ リハビリ専門職によるフォローアップ訪問
- 【担当課】長寿福祉課

健康な暮らしのサポート

人生100年時代の健康サポート事業
【予算額】260万円(予算書P.119)

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することで、高齢者の抱える健康課題にきめ細やかに対応します。

- ◆ 生活習慣病やフレイル予防の健康教育
- ◆ 健康づくりマイストーリー運動との連携

【担当課】健康づくり課



介護サービスの充実と給付適正化

第9期介護保険事業計画等策定事業 臨
(一般管理費)
【予算額】230万円(予算書P.293)

健康福祉増進と介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施するため、高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画を策定します。

【担当課】長寿福祉課

介護保険認定調査モバイル導入事業 新
(一般管理費)
【予算額】115万円(予算書P.293)

タブレット型のデバイスを導入することで、介護認定調査の迅速化を図ります。



【担当課】長寿福祉課

在宅医療・介護連携アプリ導入事業 新
(在宅医療・介護連携推進事業)
【予算額】1,697万円(予算書P.303)

燕・弥彦圏域の医療機関や介護事業所等が、患者の受療状況や薬剤情報等を共有できるコミュニケーションツールの導入と、ICT導入に伴う人員の増員を支援します。

【担当課】長寿福祉課

- ① 障がいの有無に関わらず自分らしく自立した日常生活を営めるよう、生活基盤の強化等に取り組みます。
- ② 障がいのある人の重度化や高齢化、「親亡き後」などを見据え、地域全体で支える体制づくりに取り組みます。

地域全体で支える体制の整備

障がい者地域生活支援拠点等運営事業^新(地域生活支援事業) 【予算額】7,959万円(予算書P.91)

障がいのある人の重度化や高齢化、「親亡き後」などを見据え、地域全体で支える体制づくりに取り組みます。

- ◆ケース情報の登録や共有、データベース化
- ◆24時間365日の連絡体制の確保
- ◆緊急受入に係るセーフティネットの確保

【担当課】社会福祉課

福祉的就労の支援

作業受委託マッチング促進事業^新 (地域生活支援事業) 【予算額】220万円(予算書P.91)

障がい福祉サービス事業所の作業受注と、企業の作業発注とのマッチング等を支援し、受発注量の増加や工賃アップを図ります。

- ◆マッチング業務
- ◆アドバイザー業務

【担当課】社会福祉課



障がいに対する正しい理解の促進

つばめバリアフリーフェス (地域生活支援事業) 【予算額】25万円(予算書P.91)

障がい者施設の紹介や商品販売、講演会の開催を通して、障がいのある人の社会参加や福祉的就労の充実を図るとともに、障がいのある人への理解を深めます。

【担当課】社会福祉課



ニーズに応じたサービスの充実

障がい者基本計画等策定事業^臨 (身体障がい者福祉事業) 【予算額】210万円(予算書P.87)

障がい福祉に係る施策を推進するため、障がい者基本計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定します。

【担当課】社会福祉課



障がい者タクシー利用料及び自動車燃料費助成事業^拡 (身体障がい者福祉事業) 【予算額】1,802万円(予算書P.87)

障がいのある人の社会参加を促進するとともに、経済的負担軽減を図るため、タクシー利用料と自家用車の燃料費の一部を補助します。

- ◆タクシー利用券と自動車燃料費助成券を共通化

【担当課】社会福祉課

身体障がい者(児)日常生活用具給付事業^拡 (身体障がい者福祉事業) 【予算額】1,845万円(予算書P.87)

給付対象品目を追加し、障がいのある人の日常生活を支援します。

- ◆追加品目：人工内耳の電池、充電器

【担当課】社会福祉課



- ① U・I・Jターン希望者のニーズを捉えた移住支援の充実を図ります。
- ② 移住者に寄り添った情報提供を充実させるとともに、定住につながるよう、支援策の拡充を図ります。
- ③ 県外在住の燕市出身の若者との交流や情報発信を継続し、将来的なUターンや交流・応援(燕)人口の増加につなげます。

移住・定住の促進

つばめ移住・定住促進事業 拡 【予算額】 4,068万円 (予算書P.65)

移住・定住を促進するため、転入者向けの各種補助事業を実施するほか、ニーズに応じた情報発信等を行います。また、移住後も住み続けていただくために、交流会や市内ツアー等を実施します。

【担当課】 地域振興課

燕市に移住していただくために

★移住者住宅支援事業補助金 拡

家賃補助事業の対象に、市内企業に就職する方を追加します。

- ◆ 対象者: 県外からのU・Iターン者等/市外からの新婚世帯/市内企業に就職する市外からの移住者
- ◆ 補助額: 家賃の1/2 (1か月あたりの上限 1万5,000円、24か月まで)

★テレワーカー交通費補助金 拡

「被雇用者」に加えて、「個人事業主」「法人代表者」を対象に追加します。

- ◆ 補助額: 移住前に仕事の拠点としていた場所（勤務先等）までの交通費の1/2 (1か月あたりの上限4万円、12か月まで)

★移住・就業等支援事業補助金 拡

東京23区からの就業者等を対象に移住支援金を交付します。

- ◆ 補助額: 単身世帯 60万円 /

2人以上の世帯 100万円 (国の制度改正により、18歳未満一人につき最大100万円加算)



移住後も住み続けていただくために

★交流会・講習会

移住者同士が定住に向けて様々な情報交換ができる場を提供します。

★定住希望者向け市内ツアー

引き続き住んでいただけるよう、希望する移住者向けに、空き家や保育園等を案内します。

移住家族支援事業 拡

【予算額】 3,500万円 (予算書P.163)

市外からの移住者の住宅取得費の一部を助成し、本市への移住の流れを呼び込みます。

- ◆ 上限額: 110万円 (基本額10万円 + 加算額)

- ◆ 加算項目: 居住誘導区域内定住、中古住宅取得、新婚世帯、子育て世帯、多子世帯、空き家バンク利用、市内建築業者元請、市内不動産業者の仲介等、テレワーク勤務利用者

定住家族支援事業 拡

【予算額】 750万円 (予算書P.163)

居住誘導区域である市街地中心部に定住を促進させるため、住宅取得費の一部を助成します。

- ◆ 上限額 : 35万円 (基本額10万円 + 加算額)

- ◆ 加算項目 : 土地を購入し建築、中古住宅取得、新婚世帯、子育て世帯、多子世帯、など

【担当課】 都市計画課

ふるさと燕と若者のつながり

ふるさと燕若者応援事業 拡

【予算額】 87万円 (予算書P.67)

県外在住の燕市出身の若者による交流組織「つばめいと」の運営を行い、ふるさと燕とのつながりを大切にしながら、将来的なUターンを支援します。



- ◆ 若者交流会の開催 (年2回→年3回)

(東京会場、燕会場、関西会場)

- ◆ 会員限定インターナシップの開催

【担当課】 地域振興課

- ① 望ましい生活習慣の普及啓発に努めるとともに、特定保健指導や重症化予防指導の充実を図ります。
- ② こころの健康を保ち、健やかな生活ができるよう自殺対策に努めます。
- ③ 自分らしい健康づくりに取り組めるよう「健康づくりマイストーリー運動」を推進します。

がん患者の経済的・精神的負担の軽減

医療用補正具購入費助成事業 新

【予算額】272万円 (予算書P.119)

がん患者の経済的負担の軽減と、治療等による外見の変化に起因する精神的な負担の軽減を図るため、胸部補正下着やウィッグ等の医療用補正具の購入費用を補助します。

- ◆補助率：10/10
- ◆上限額：3万円
- ◆対象補正具：医療用ウィッグ、乳房補正具（パット、人工乳房）
- ◆補助回数：補助対象者1人につき補正具ごとに1回

（2年以内に2台目を購入する場合は補助率1/2、上限1万5,000円）

【担当課】健康づくり課



健康情報の発信強化

健康・子育てLINE導入事業 新

（健（検）診事業）

【予算額】972万円 (予算書P.117、119)

新たに健康・子育てをパッケージ化したLINEを導入し、健診等予約システムと連動することで、健診等の情報発信強化を図ります。

- ◆導入時期：令和5年10月予定

【担当課】健康づくり課

こころの健康づくりの推進

こころの健康スワロー運動

（保健対策事業）

【予算額】13万円 (予算書P.113)

「眠る・話す・つながる」を推進する「こころの健康スワロー運動」の普及を図り、市民のこころの健康づくりを進めます。

【担当課】健康づくり課



自分らしい健康づくりの推進

つばめ元気かがやきポイント事業 拡

（健康づくりマイストーリー運動、

介護予防把握事業費、

介護予防普及啓発事業費）

【予算額】320万円 (予算書P.119、301)

開始から10年を迎えるにあたり、県や企業等との連携を図り、楽しみながら取り組める健康づくり運動を推進します。

- ◆市内企業歩数対抗戦「燕JOYウォーキングGOO！」の実施

- ◆1か月短期集中キャンペーンの実施

- ◆10周年記念イベントの実施

【担当課】健康づくり課、長寿福祉課

健康増進計画・食育推進計画・歯科

保健計画策定事業 臨（保健対策事業）

【予算額】231万円 (予算書P.113)

第4次健康増進計画、第3次食育推進計画、第2次歯科保健計画を一体的にした複合計画を策定します。

【担当課】健康づくり課



- ① より多くの市民がスポーツに親しめるよう、スポーツ環境の整備を進めます。
- ② 次代を担う子どもたちのスポーツ意欲・競技力の向上に向けて、学び・体験の機会の提供に努めます。

スポーツに親しむ環境整備

B&G海洋センター改修事業 新 【予算額】352万円 (予算書P.215) 【事業期間】令和5～7年度

子どもたちのプール授業の受け皿としての機能や利用状況等を踏まえ、施設の規模や在り方を検討した上で、老朽化した管理棟などの改修に向けた基本設計を行います。

【担当課】社会教育課

第2次スポーツ推進計画策定事業 臨時 (体育振興費) 【予算額】17万円 (予算書P.213)

スポーツを通じた健康・体力づくりのさらなる推進に向けて、第2次スポーツ推進計画を策定します。

【担当課】社会教育課

学校開放施設ナイター設備改修事業 【予算額】1億1,660万円 (予算書P.217) 【事業期間】令和3～8年度

夜間の学校開放で使用しているナイター設備のLED化を進めます。

◆令和5年度：小池中学校、分水中学校
【担当課】社会教育課

分水多目的屋内運動場改修事業 【R4繰越予算額】4,176万円 【事業期間】令和4～6年度

1号棟の老朽化した人工芝の張替や照明のLED化、トイレの洋式化を行います。

◆令和5年度：

〈1号棟〉人工芝張替、照明LED化、バリアフリートイレ改修、男子トイレ洋式化

【担当課】社会教育課

部活動の地域移行事業 新 【再掲30ページ】

【担当課】学校教育課



燕さくらマラソン大会 (生涯スポーツ振興費) 【予算額】2,124万円 (予算書P.215)

箱根駅伝出場者をゲストランナーとして招くほか、ハーフマラソンでは新たに日本陸上競技連盟の公認を取得したコースで開催します。

◆期日：4月15日（土）

【担当課】社会教育課



スポーツ意欲・競技力の向上

ゆめみらいスポーツ教室 【予算額】500万円 (予算書P.215)

子どもたちから夢や希望を持ってスポーツに取り組んでもらうため、関係団体の協力によりトップアスリートを招いてのスポーツ教室を開催します。

◆開催種目：

水泳、陸上等
3種目程度

【担当課】社会教育課



つばめ野球クリニック・トークショー (応援(燕)人口拡大創出事業) 【予算額】163万円 (予算書P.67)

東京ヤクルトスワローズの選手を招き、少年野球チームの子どもたち向けの野球教室や、トークショーを開催します。

【担当課】地域振興課



2-(1)-③ 生涯学習・文化活動の充実

-41-

- ① 文化財等の保存・活用や郷土の歴史・文化の魅力発信を通して、郷土愛の醸成を図ります。
- ② 芸術文化活動を通して、豊かな人間性を養う機会を提供します。

文化財等の保存・利活用の推進

新分水良寛史料館基本構想策定事業 新 【予算額】500万円 (予算書P.207)

施設の老朽化への対応や文化財等の所蔵スペースの確保に加え、減少傾向にある入館者数の増加を図るため、施設の機能拡充や移転改築を含めた、施設の新たな在り方の検討を開始します。

- ◆令和5年度：基本構想策定
【担当課】社会教育課



生涯学習活動の推進

第3次生涯学習推進計画策定事業 臨 (生涯学習推進費) 【予算額】19万円 (予算書P.195)

生きがいや生活の豊かさにつながる生涯学習環境のさらなる充実に向けて、第3次生涯学習推進計画を策定します。

- 【担当課】社会教育課



郷土への誇りと愛着の醸成

大河津分水通水100周年記念 声優朗読劇書籍化事業 新 (文化振興事業) 【予算額】679万円 (予算書P.209)

大河津分水の歴史やもたらされた恩恵を親しみやすく伝えていくため、令和4年度に通水100周年を記念して開催した人気声優による朗読劇を、小説や絵本として書籍化します。

- 【担当課】社会教育課



偉人漫画活用事業 新 (文化振興事業) 【予算額】91万円 (予算書P.209)

私塾長善館創設者「鈴木文臺」をテーマに、令和4年度に制作したマンガを市内小中学校に配付するとともに、一般向けに販売も行い、ふるさと燕の歴史・文化を広く発信します。



- 【担当課】社会教育課、広報秘書課

つばめっ子かるた大会 (文化振興事業)

【予算額】53万円 (予算書P.209)

ふるさと燕の魅力や特色を活かした郷土教育の推進に向けて、「つばめっ子かるた大会」を開催します。

- 【担当課】社会教育課

芸術文化活動の活性化

文化会館自主事業 拡

【予算額】2,721万円 (予算書P.205)

若者に人気の声優やお笑い芸人によるイベントをはじめ、子どもから高齢者まで、幅広い世代が楽しめる舞台芸術等を提供します。

- ◆市内小学校合同演劇鑑賞会
(小学5・6年生対象)
- ◆声優朗読劇
- ◆つばめお笑いフェス
- ◆つばめ音楽祭 等

- 【担当課】社会教育課



2-(2)-① 地域福祉の推進

-42-

- ① ヤングケアラー、貧困など子どもを取り巻く社会問題に対応するため、関係機関との連携を図り、早期支援につなげます。
- ② 地域住民一人ひとりが地域福祉活動への参加意欲を高められるよう、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。
- ③ 成年後見制度を必要とする人が適切に制度を利用することができるよう、中核機関を設置し利用促進に取り組みます。

子どもを取り巻く問題への対応

ヤングケアラーサポート事業 新 (こども家庭センター開設準備事業) 【予算額】14万円 (予算書P.107)

ヤングケアラーへの支援方法や支援に関する周知・啓発方法等をプロジェクトチーム内で検討するとともに、ヤングケアラーへの理解促進を図ります。

- ◆園児から高校生、支援機関等に向けたチラシ作成

【担当課】子育て応援課



子どもの居場所づくり支援事業 拡 【予算額】144万円 (予算書P.105)

子ども食堂など食事や学びの場を提供する団体に対し、物価高騰による食材費等の負担を軽減するため、助成金を増額し、安定した運営の継続を支援します。

- ◆助成金額：上限10万円 ⇒ 15万円

【担当課】子育て応援課



支援が必要な人への多様な支援

生活困窮者自立支援事業 【予算額】418万円 (予算書P.109)

困窮状態から早期に脱却できるよう、自立に向け包括的・継続的な支援を行います。

- ◆自立に向けた支援プランの作成
- ◆就労に向けた基礎能力の養成や就労機会の提供
- ◆家計の見える化による収入と支出の改善
- ◆家賃相当額の支給支援

【担当課】社会福祉課



フードドライブ事業 【予算額】ゼロ予算

家庭や企業などで余っている食品を持ち寄り、集まった食品を市内のフードバンクへ寄附するフードドライブ活動を継続し、生活困窮世帯やひとり親世帯などを支援します。



【担当課】社会福祉課

地域支え合い活動の推進

地域福祉セミナー開催事業 新 (地域福祉推進事業) 【予算額】33万円 (予算書P.85)

NPOをはじめとした市民活動団体等の多様な主体による地域福祉活動を促進するため、「地域共生社会」をテーマにした講演会を開催し、意識啓発を図ります。

【担当課】社会福祉課



成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用促進中核機関運営事業 新 (地域生活支援事業)

【予算額】1,045万円 (予算書P.91)

地域連携ネットワークを担う中核機関を設置し、適切な後見人の選任等を行うことで権利擁護支援を推進します。

- ◆担い手の養成や支援
- ◆チームによる後見人支援

【担当課】社会福祉課、長寿福祉課



- ① 若者が活動しやすい環境を提供し、次代のまちづくりの担い手につながるよう支援します。
- ② 地域住民が安全に安心して暮らしていくよう、地域コミュニティの維持・継続を支援します。

若者活動の支援

つばめ若者会議事業 拡

【予算額】387万円 (予算書P.65)

「燕ジョイ活動部」や「燕市役所まちあそび部」をはじめとする若者の主体的な取組が、より活発になるようサポートします。

また「つばめ若者会議」設立10周年を記念して、「燕市役所まちあそび部」が令和4年度に実施した「まちあそび学会」を参考に、高校生や大学生などの若者がまちを使って遊ぶイベントを開催し、メンバーの人材育成につなげます。

◆つばめ若者会議10周年イベントの実施

◆他団体の同年代のメンバーとの交流支援
(福島県南相馬市、富山県南砺市、滋賀県長浜市等)

◆SNS等を活用したプロモーション

◆地域との協働

◆全体ミーティング・活動報告会

【担当課】地域振興課



羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】308万円 (予算書P.179)

夢の実現に向けた自己啓発や社会貢献など、次代を担う子どもたちが主体的に取り組む活動を支援します。

◆補助額(上限) :個人10万円、団体25万円、他
【担当課】学校教育課



持続可能な自治会運営の支援

自治会コミュニティ運営応援事業 新

(町内関係費)

【予算額】78万円 (予算書P.55)

自治会活動の活性化とコミュニティ意識の醸成を図るため、自治会役員を対象に、先進事例を紹介する講演会を開催します。

また、デジタルを活用した自治会業務の負担軽減を目指し、その取組の第一歩として、LINE活用セミナーを開催します。

【担当課】総務課



市民活動団体への支援

協働のまちづくり推進事業 拡

【予算額】613万円 (予算書P.63)

自治会やまちづくり協議会、市民活動団体が行う公益的な活動に対して「イキイキまちづくり事業助成金」を交付し、市民活動の活性化を図ります。

◆助成金（上限）：まちづくりチャレンジ事業 5万円→10万円／まちづくりステップアップ事業 20万円／まちづくりコラボ事業 30万円／まちづくりコミュニティ事業 15万円

◆審査会：年2回→年5回

【担当課】地域振興課

まちづくり協議会支援事業

【予算額】1,277万円 (予算書P.63)

運営経費に対し財政支援を行うとともに、情報提供や活動相談などの人的支援を行うことで、地域コミュニティの活性化を推進します。

◆運営補助：均等配分28万円

+世帯加算(世帯数×60円)

◆事業補助：均等配分28万円

+人口加算(人口数×50円)

【担当課】地域振興課

2-(3)-② 誰もが活躍しやすい環境づくり、③人権尊重・多文化共生のまちづくり -44-

- ① 性別等に関わりなく、互いを尊重する男女共同参画社会の実現を目指します。
- ② ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、誰もが活躍できる職場環境づくりを推進します。
- ③ 市民一人ひとりが多様性を認め合い、人権を尊重できる社会の実現を目指します。

誰もが活躍できる職場環境整備

つばめ子育て応援企業サポート事業 拡 【予算額】500万円 (予算書P.67)

市内企業における、仕事と育児が両立できる職場環境づくりを支援します。



【担当課】地域振興課

★つばめ子育て応援企業認定 拡

・「子育て応援企業」を認定するとともに、認定企業のPRや男性育休体験談の発信を行います。

★男性の育児休業取得促進奨励金 拡

男性従業員：5日以上…5万円

50日以上…10万円

事業主：5日～13日…7万円

14日～49日…15万円

50日以上…20万円

※「50日以上」は、連続または分割の合計

★仕事と子育て両立セミナー 新

・若手経営者を対象に、「学生や若者が働きたくなる職場づくり」などに関するセミナーを開催します。

★社会保険労務士による企業訪問型男性育休啓発

女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

【予算額】274万円 (予算書P.63) 拡

女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場づくりを推進します。

★みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金

◆補助対象：研修や就業規則変更等にかかる経費など

◆補助額：申請区分により最大20万円

★つばめ女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム

★市内事業所の若手社員を対象とした人材育成セミナー

【担当課】地域振興課

男女共同参画の推進

第4次燕市男女共同参画推進プラン

策定事業 臨 (男女共同参画推進事業)

【予算額】21万円(予算書P.63)

男性も女性も対等な関係で、あらゆる分野の活動に参画していく社会を実現するため、「第4次燕市男女共同参画推進プラン」を策定します。

【担当課】地域振興課

人権の尊重に向けて

第2次燕市人権教育・啓発推進計画 策定事業 臨 (戸籍住民基本台帳費)

【予算額】15万円 (予算書P.73)

LGBTQなどの新たな人権課題に対する理解をはじめ、差別や偏見のない明るい社会の実現を目指すため、「第2次燕市人権教育・啓発推進計画」を策定します。

【担当課】市民課

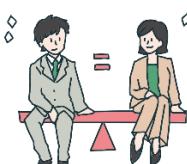


多文化共生のまちづくり

多文化共生事業 拡

【予算額】100万円 (予算書P.69)

市内に住む外国人同士や、外国人と日本人とがお互いの理解を深めるため、交流会や講座を開催します。



◆(仮)つばめ多文化交流会(2回→3回)

◆外国人向けの日本語講座、日本人向けの英語塾・ベトナム語入門講座（燕市国際交流協会が実施）

【担当課】地域振興課

- ① 産業史料館の魅力発信や食文化のプロモーション等により、産業観光を促進します。
- ② 弥彦村、燕市観光協会と連携し、インバウンドも含めた着地型観光を推進します。

産業観光の推進

産業史料館50周年記念事業 臨

【予算額】920万円 (予算書P.151)

燕市産業史料館が開館から50周年を迎えることから、記念事業として様々な情報発信やり・ブランディングを展開します。

- ◆産業史料館ロゴ・館内看板のリニューアル
- ◆記念講演会の開催
- ◆図録の制作
- ◆特別企画展の開催
- 【担当課】観光振興課



燕青空即売会ツアー造成支援事業 新 (観光推進費)

【予算額】100万円 (予算書P.147)

燕市の一大イベント「燕青空即売会」における新たな客層を獲得するため、「燕青空即売会」をコースに組み込んだ募集型バスツアーに係る経費の一部を補助します。

- ◆補助率：1/2
- ◆上限額：10万円/バス1台
- 【担当課】観光振興課



燕ソウルフード観光プロモーション事業 新

(観光推進費)

【予算額】300万円 (予算書P.147)

文化庁の「未来の100年フード」に認定された背脂ラーメンを観光資源とし、着地型観光を推進するため、市内ラーメン店を周遊するキャンペーンを実施します。

【担当課】観光振興課



燕市産業観光魅力創出支援事業 拡

(産業観光受入体制整備事業)

【予算額】220万円 (予算書P.149)

工場見学が可能な事業所の受入体制の整備を支援し、観光客の増加や満足度向上につなげます。

★受入体制整備補助金

- ◆ソフト経費 補助率：2/3 上限額：20万円
- ◆ハード経費 補助率：1/2 上限額：100万円

★受入協力補助金 新

◆受入1回あたり1,000円～4,000円

【担当課】観光振興課

広域連携での誘客促進

産業観光ツアー造成支援事業 新

(燕・弥彦広域観光連携会議負担金)

【予算額】250万円 (予算書P.147)

国内外の旅行業者が実施する燕・弥彦地域を目的地とした募集型バスツアーに係る経費の一部を補助します。

- ◆日帰りツアー 補助率：1/2
上限額：5万円/バス1台

- ◆宿泊ツアー 補助率：1/2
上限額：10万円/バス1台



【担当課】観光振興課

インバウンドプロモーション事業 拡

(燕・弥彦広域観光連携会議負担金)

【予算額】117万円 (予算書P.147)

台湾をターゲットにした燕・弥彦地域への誘客促進のプロモーション活動を実施します。また、インバウンド向けの情報発信を強化するため、観光パンフレットの英語版、中国語版（繁体字）を作成します。

【担当課】観光振興課

- ③ 自然観光の拠点である道の駅「国上」の機能を指定管理者とともに一層強化・充実させます。
- ④ 道の駅「国上」を核とした様々なイベントの開催等を通して、賑わいを創出します。

道の駅「国上」を核とした自然観光の推進

道の駅「国上」の施設機能の強化

道の駅「国上」周辺駐車場及び公園の整備 拡
 (道の駅「国上」運営事業、都市公園管理費)
【予算額】714万円 (予算書P.151、165)

★酒呑童子神社前の砂利駐車場の整備・拡張

道の駅「国上」周辺の駐車
エリアを増やします。

◆駐車可能台数：
現状45台→整備後75台



★国上健康の森公園アプローチ階段整備

酒呑童子神社前駐車場の整備・拡張に合わせ、
歩道から公園へのアプローチ階段を整備します。



★国上健康の森公園芝生エリアの水はけ改善
芝生エリアの水はけ改善
のための暗渠管設置工事
を行います。



【担当課】観光振興課、都市計画課

国上農村環境改善センター改修事業 拡
 (国上農村環境改善センター維持管理事
業)

【予算額】4,949万円 (予算書P.139)

指定管理者によるトレッキングベースキャンプ
整備に合わせ、同センターを改修・修繕します。

- ◆トイレの洋式化
- ◆屋外ウッドデッキの修繕
- ◆照明のLED化 等

【担当課】農政課



指定管理者による道の駅「SORAIRO 国上」の機能拡充

- ◆RVパーク・キャンプ場整備(第2駐車場内)
- ◆トレッキングベースキャンプ整備(国上農
村環境改善センター内)

※いずれもイメージです



RVパーク・キャンプ場

トレッキングベースキャンプ

賑わいの創出

道の駅「国上」でのイベント開催 拡
 (道の駅「国上」運営事業)

【予算額】600万円 (予算書P.151)

道の駅「国上」で季節ごとに特色ある集客
イベントを開催し、
賑わいを創出します。

◆開催数：2回⇒3回

【担当課】観光振興課



国上山森林フェア

拡 (森林整備費)

【予算額】40万円 (予算書P.141)

道の駅「国上」で森林整備の大切さを学ぶ
木工教室などのイベントを開催します。

◆開催数：1回⇒2回 【担当課】農政課

国上山観光の活性化

拡 (観光推進費)

【予算額】40万円 (予算書P.147)

国上山の自然を満喫するエコトレッキング
ツアーを開催します。また、トレッキング
マップをデジタル化します。

【担当課】観光振興課

3-(2)-① 広域連携・都市交流の推進、②「ふるさと燕」のファン拡大 -47-

- ① 本市の魅力や特色ある施策等を戦略的にプロモーションし、交流・応援（燕）人口の拡大を図ります。
- ② 県内外の自治体と交流・連携し、相互の地域活性化や補完機能の強化につなげます。

ふるさと納税の推進

ふるさと燕応援事業 拡

【予算額】13億7,500万円

(予算書P.57)

燕市のファン拡大を目的に、魅力ある本市の地場産品をふるさと納税のお礼の品として寄附者の方に贈呈します。



また、寄附の増加を図るため、寄附受付サイトや公式インスタグラム等を活用し、戦略的・継続的なPRを行います。

◆お礼の品を通じた燕市の魅力発信

◆お礼の品の拡充

◆直営サイト「つばふる」や公式インスタグラム、ウェブ広告等を活用した多面的なプロモーション

【担当課】総務課

自治体クラウドファンディング事業

【予算額】6億2,500万円 (予算書P.57)

全天候型子ども遊戯施設の整備に要する財源を、クラウドファンディングにより確保します。

【担当課】総務課、こども未来課

燕市のファンづくり

応援（燕）人口拡大創出事業 拡

【予算額】2,271万円 (予算書P.67)

東京ヤクルトスワローズやアルビレックス新潟と連携したイベントの開催およびPRを行い、新たな燕市ファンの獲得に取り組みます。また、市外県外にいる燕市のファンの皆さんのが、燕市と様々な関わりを持てる事業やプログラムを実施します。

◆外部専門人材による地域や商店街等での交流体験プログラムの開発

※地域活性化起業人制度を活用

◆東京ヤクルトスワローズとの交流・連携事業

・燕市Dayの開催、ファン感謝デーでの出展、田植え・稻刈りイベント、選手トークショー、等

◆アルビレックス新潟との連携

【担当課】地域振興課

シティプロモーション事業 拡

【予算額】2,142万円 (予算書P.67)

様々なツールを最大限活用し、「ものづくり」「人」「自然」「食」といった本市の魅力を広く全国に向けて発信します。



◆燕市にゆかりのある方々から燕の魅力を発信してもらう「燕市PRサポーター（仮称）」の創設

◆PR大使・隊鳥（長）10周年記念事業

◆アルビレックス新潟の選手を起用した「子育てするなら燕市で」のプロモーション

【担当課】広報秘書課

広域連携の推進

県央基幹病院での病児・病後児保育事業 新

(病児・病後児保育事業)

【再掲35ページ参照】

【担当課】こども未来課

燕・弥彦地域定住自立圏推進事業

【予算額】10万円 (予算書P.61)

医療福祉・広域観光・地域公共交通等の分野での連携事業を推進します。【担当課】企画財政課

①市民の防災知識の習得と、市の防災体制の強化等により、官民一体となった防災力の強化を推進します。

②市民の交通安全意識の向上と、子どもや高齢者の関与する事故の未然防止に取り組みます。

③市民の防犯意識の向上と、自主的な防犯活動を促進するとともに、被害の未然防止と被害者支援に取り組みます。

防災力の強化

地域防災活動推進事業 拡

(災害対策事業)

【予算額】 110万円 (予算書P.169)

自主防災組織などが行う防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーを養成するなど、市民主体の防災活動を推進します。また、運送会社との包括連携協定に基づく物資搬入搬出訓練を実施します。 【担当課】 防災課



固定電話への防災情報配信事業 (災害対策事業)

【予算額】 78万円 (予算書P.169)

75歳以上の高齢者のみ世帯などを対象に、防災情報を固定電話に自動配信するサービスを提供します。 【担当課】 防災課

防災備蓄整備事業 (災害対策事業) 【予算額】 174万円 (予算書P.169)

災害発生時に、避難者の命を守るため、外部からの物資が届くまでの間に必要な食料等を備蓄します。 【担当課】 防災課

交通安全対策の推進

園児通行ルート安全対策事業

【予算額】 1,770万円 (予算書P.159)

【事業期間】 令和3～6年度

園児の散歩コースに歩道を整備し、園児を含む歩行者の安全を確保します。

◆令和5年度:市道小牧灰方線 (L=80m)

【担当課】 土木課



高齢者免許証自主返納支援事業 (交通安全推進事業)

【予算額】 275万円 (予算書P.81)

運転免許を自主返納した高齢者に対し、タクシー・おでかけきららん号、スワロー号の利用券を交付します。

◆上限額 1万円 (組み合わせ自由)

【担当課】 生活環境課

交通安全指導強化事業

(交通安全推進事業)

【予算額】 1,220万円 (予算書P.81)

交通安全協会や警察と連携し、街頭指導や園児・児童および高齢者向けの交通安全教室などを行い、交通安全意識の醸成を図ります。



【担当課】 生活環境課

防犯と被害者支援

防犯カメラ設置補助事業(防犯事業費)

【予算額】 112万円 (予算書P.59)

防犯組合が設置する防犯カメラに対して補助金を交付します。

◆補助率 : 2/3 ◆上限額 : 8万円

【担当課】 生活環境課

犯罪被害者等支援事業

【予算額】 53万円 (予算書P.59)

相談窓口を設置するとともに、犯罪被害者等見舞金を支給します。

【担当課】 生活環境課

4-(1)-③ 良好な生活環境の保全、④ 脱炭素社会づくり

-49-

- ① 資源循環型社会の構築に向け、4R活動やごみの再資源化を推進します。
- ② 公共部門、民生部門、産業部門における省エネの推進と再生可能エネルギーの利用促進に取り組みます。

4R活動の推進

MONO² (モノモノ) リユース事業 **新**
(環境政策推進事業)
【予算額】24万円 **(予算書P.123)**

ごみの減量化、再利用化につなげるため、新たに不用品のフリーマーケットや学用品のリユース会を開催します。
【担当課】生活環境課



ごみの再資源化の推進

カンカンBOOK事業・福服BOOK事業
(保育園運営費)
【予算額】32万円 **(予算書P.95)**

協力事業所より寄附いただきました空き缶や、市民の皆さんから寄附いただきました古着の売却益で、市内保育園等の絵本などを購入します。
【担当課】生活環境課、こども未来課



脱炭素社会の推進

環境基本計画策定事業 **臨**
(環境政策推進事業)
【R4繰越予算額】1,053万円



地球温暖化対策実行計画を包含する、第3次燕市環境基本計画を策定します。
【担当課】生活環境課

自家消費型太陽光発電利用促進補助事業 **新** **(環境政策推進事業)**
【予算額】500万円 **(予算書P.123)**

市内事業者が、自家消費費用に設置する太陽光発電設備に対して補助金を交付します。



◆補助額：2万5,000円／kw（上限50万円）
【担当課】生活環境課

メガソーラー発電所の設置 **新**
【予算額】ゼロ予算

市内2か所目となるメガソーラー発電所が、クリーンセンター館野において9月より稼働します。発電した電力は市内等で消費されます。
【担当課】生活環境課

道路照明LED化事業 **新**

【予算額】1,930万円 **(予算書P.157)**
【事業期間】令和5～7年度

防犯灯等に使用される蛍光灯のLED化が完了したため、新たに水銀灯の道路照明をLED化することで、道路の夜間視認性の向上と省エネ化を図ります。
【担当課】土木課

小風力発電活用可能性調査事業
【予算額】ゼロ予算

可能性調査報告結果に基づき、小風力発電試験機の設置等小風力発電の活用について検討を進めます。
【担当課】生活環境課

住宅エコリフォーム支援事業
(建築総務費)
【予算額】1,150万円 **(予算書P.163)**

住宅の省エネ化を目的に実施する診断、設計、改修工事に対して補助金を交付します。

◆補助額：診断費の2/3（上限額10万円）
設計費の2/3（上限額20万円）
工事費の23%（上限額70万円）

※ZEH住宅は工事費の上限額100万円
【担当課】営繕建築課

4-(2)-① 空き家対策とまちなかの賑わいづくり

-50-

- ① 賑わいづくりに官民一体で取り組み、まちなかの魅力向上に努めます。
- ② 空き家や空き地の有効活用により住環境を向上させることで、住み続けたいまちづくりに努めます。
- ③ 暮らしやすいまちを目指し、まちなかへの都市機能集積と居住誘導を推進します。

まちなかにおける賑わいと活気の創出

中心市街地再生モデル事業補助金 新

【予算額】5,000万円 (予算書P.165)

まちなかを活性化するため、令和3年度にプロポーザル方式により採択し、民官連携体制で練り上げてきた燕地区の商店街における整備事業の一部を助成します。

◆補助額：解体費、建設費の1/2 上限5,000万円

◆整備する施設：

複合シェアスペース、屋外広場、駐車場、トレーラーハウスなど

【担当課】都市計画課



商店街店舗リノベーション促進事業 (小売商業活性化事業)

【予算額】600万円 (予算書P.143)

商業地域で新たに小売商業等を営む方を対象に改装費用の一部を補助することで、空き店舗の利活用を促進します。

◆補助額：改装費用の1/2
上限150万円

【担当課】商工振興課



まちなかにぎわい創出事業 (小売商業活性化事業)

【予算額】120万円 (予算書P.143)

民間団体と連携し、小規模なイベントを定期的に実施することで、にぎわいの創出と商店主等の交流を促進します。

◆実施内容：

情報や課題の共有、空き家・空き店舗の活用を含むにぎわい創出イベント委託など

【担当課】商工振興課

空き家の解消と跡地の有効活用

空き家跡地活用促進事業

(空き家等対策推進事業)

【予算額】2,000万円 (予算書P.165)

空き家を解体し、分譲再編など周囲を一体活用することを条件に、一定以上の不良度がある空き家の解体について助成を行うことで、空き家の解消と空き地等の再編を促進します。

◆補助額：建物解体費の1/2 上限50万円

◆加算額：狭隘道路等を解消する場合、整備費の一部も対象 上限1,200万円

【担当課】都市計画課

適切な土地利用の推進

立地適正化計画改定事業 既定

【予算額】440万円 (予算書P.165)

近年の自然災害の発生状況に対応するため改訂されたハザードマップを踏まえつつ、現行計画の進捗と成果の分析を反映した計画の見直しを行います。

◆見直し項目：

都市機能や居住を誘導する区域及び施策

【担当課】都市計画課

- ① 生活道路の改良や橋梁の長寿命化により、歩行者や通行車両の安全性や快適性を確保します。
- ② 都市公園の民間活力の導入等による施設整備や利用環境の向上に努めます。

道路環境の整備

修繕料(道路維持費)等 拡

【予算額】7億7,490万円

(予算書P.155、157、159、161)

老朽化した道路施設や消雪施設を、適正に維持管理するとともに、新たに南町地区で老朽化した側溝を整備し、計画的な路肩拡幅工事を行います。【担当課】土木課



	令和5年度	令和4年度	前年 比較
除排雪関連	事業費	事業費	事業費
除排雪対策事業(消雪パイプ維持管理業務委託料)	4,100	3,980	120
除排雪対策事業(修繕料)	9,890	9,690	200
消雪施設整備事業(工事請負費)	8,420	7,800	620
合計	22,410	21,470	940

道 路 維 持 関 連	(単位:万円)	令和5年度	令和4年度	前年 比較
道路維持費(修繕料)	7,200	6,200	1,000	
道路維持費(道路維持修繕工事費)	3,200	3,200	0	
道路維持費(道路安全施設工事費)	1,200	1,200	0	
道路維持費(道路照明設置工事費)	900	1,100	▲200	
幹線道路環境整備事業	4,900	4,900	0	
道路改良事業(市道改良舗装工事費)	11,300	11,000	300	
下水路整備事業(工事請負費)	9,300	9,000	300	
側溝修繕事業	9,210	9,240	▲30	
生活道路対策側溝修繕事業	770	1,080	▲310	
生活道路整備事業(南町地内) <small>新</small>	7,100	0	7,100	
合計	55,080	46,920	8,160	

広域6号線交差点改良事業 新

【予算額】870万円 (予算書P.161)

【事業期間】令和5~6年度

通勤時間帯の渋滞緩和と安全性の向上のため、西燕地区の交差点を改良するとともに、信号機の設置に向けて取り組んでいきます。

◆令和5年度：測量設計



【担当課】土木課

橋梁の長寿命化

橋梁修繕事業 拡

【予算額】9,520万円 (予算書P.159)

定期点検の結果と橋梁長寿命化修繕計画に基づいて計画的な修繕工事を実施します。

◆令和5年度：

- 修繕工事(2橋)
- 詳細設計(2橋)

【担当課】土木課



公園施設の整備

公園施設長寿命化計画策定事業 臨

【予算額】4,000万円 (予算書P.165)

遊具や管理棟等を長寿命化するための計画を策定します。【担当課】都市計画課

Park-PFI整備事業 新

【予算額】ゼロ予算

事業収益の一部で公園整備を行う事業案を三条市と連携して再公募し、民間活力により須頃郷第1号公園を整備します。【担当課】都市計画課



- ① まちづくりと一体となった公共交通運行路線の再編に取組みます。
- ② 予約システムの改良により、公共交通のさらなる利便性向上に取組みます。

公共交通の最適化

バス路線の見直し事業 新

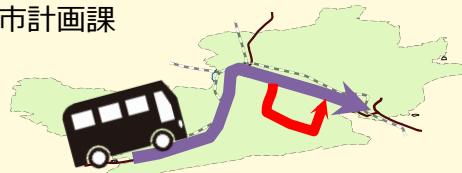
【予算額】ゼロ予算

令和6年3月の県央基幹病院の開院に合わせ、路線バスの運行ルートを見直すとともに、鉄道など他の交通機関との接続を改善することで、公共交通の利便性の向上を図ります。

◆見直し事項：

燕三条駅付近ルート、全路線のダイヤなど

【担当課】都市計画課



新規バス路線導入（コミュニティバス実証運行）事業 (公共交通運行事業)

【予算額】1,104万円 (予算書P.83)

令和6年度の本格運行に向け、燕地区でのコミュニティバス実証運行を継続し、利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図ります。

◆実証運行ルート： 燕駅～大曲～燕三条駅～燕労災病院

～小牧地内～新生町

【担当課】都市計画課

バス待ち環境改善事業 新 (公共交通運行事業)

【予算額】88万円 (予算書P.83)

バスを利用する際の待合環境を改善するため、停留所にベンチを設置します。

◆設置予定場所：

井土巻地区の停留所

【担当課】都市計画課



燕・弥彦地域公共交通計画策定事業 臨 (公共交通運行事業)

【予算額】170万円 (予算書P.83)

変化するまちと人の動きを踏まえた新たな地域公共交通計画を策定します。

◆策定期間：令和5～6年度

◆令和5年度：

利用者意向調査、公共交通の課題整理など

【担当課】都市計画課



デマンド交通の利便性向上

きららん号予約システム更改事業 新 (公共交通運行事業)

【予算額】738万円 (予算書P.83)

デマンド交通の受付体制に電話に加え、24時間受付できるWeb予約を導入し、電話受付の混雑を緩和しながら利便性を向上させます。

◆導入時期：令和5年11月予定

【担当課】都市計画課



- ① 統合浄水場及び老朽化した配水管路の整備・更新を着実に進めます。
- ② 集合処理区域における下水道の面的整備を進めるとともに、下水終末処理場でのし尿受入整備を進めます。
- ③ 個別処理区域における合併処理浄化槽への転換を促進します。

統合浄水場と配水網の構築

浄水場施設再構築事業

【予算額】62億5,456万円

【事業期間】平成29～令和8年度

令和7年度からの供用開始を目指し、新たな浄水場を建設します。



- ◆浄水場本体工事、送配水管布設工事、取水施設建設工事

【担当部局】燕・弥彦総合事務組合 水道局

老朽管路更新事業

【予算額】11億364万円

【事業期間】令和元～8年度

老朽化した管路を漏水や地震に強い耐震性能に優れた配水管に更新します。

- ◆石綿セメント管の更新工事 (L=6.7 km)
- ◆重要給水施設管路の耐震化工事(L=0.7 km)

【担当部局】燕・弥彦総合事務組合 水道局



効率的な汚水処理の推進

下水終末処理場し尿受入整備事業 **新**

【予算額】1,400万円

下水終末処理場でし尿等を受け入れる施設を整備するため、下水道に関する各種計画の変更を行います。

◆事業期間：令和5～6年度

◆令和5年度：

下水道（燕処理区）全体
計画の変更

【担当課】下水道課



下水道事業経営改善戦略策定事業 **臨**

【予算額】253万円

住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくため、下水道に関する投資・財政計画の見直しを行い、新たな経営改善戦略を策定します。

◆事業期間：令和5～6年度

【担当課】下水道課



集合処理区域の汚水処理

公共下水道整備（未普及対策）事業

【予算額】7億1,000万円

【事業期間】令和元～10年度

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、下水道を整備します。

【担当課】下水道課



個別処理区域の汚水処理

合併処理浄化槽転換促進事業 **拡** (環境衛生費)

【予算額】3,576万円 (予算書P.125)

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽への転換を促進するため、補助金を交付します。

◆補助内容：

設置費補助 (上限額) 規模により

35～58万円⇒39～66万円

撤去費補助 (上限額) 9万円⇒12万円

宅内配管工事費補助 (上限額) 30万円

【担当課】生活環境課

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合
水道事業会計予算概要」を参照

- ①自治体DXを推進し、行政サービスの利便性向上と事務事業の効率化を図ります。
- ②公共施設の保有量適正化等を図りながら、持続可能な行財政運営を推進します。

自治体DXの推進

DX推進体制の強化 拡

(人事厚生研修費、情報システム管理費)
【予算額】2,195万円 (予算書P.53、69)

「燕市DX推進計画」に基づき、全庁横断的なプロジェクトチームを立ち上げるとともに、専門の外部人材を増員するなど、DX推進体制の強化を図ります。

- ◆「Smart燕」プロジェクトの立ち上げ
- ◆外部デジタル人材の増員 (1人 ⇒ 3人)

※増員分は、地域活性化起業人制度を活用

- ◆職員向けDX推進研修の実施
【担当課】総務課



市議会運営のデジタル化 拡

(議会運営費)
【予算額】1,152万円 (予算書P.51)

市議会の各種委員会のライブ配信を新たに行うとともに、令和4年度に導入したAI音声認識システムを全庁的に活用し、議事録作成における事務の効率化を図ります。

- ◆各種委員会の映像ライブ配信
- ◆AI音声認識システムの活用
- ◆タブレットを活用した資料のデータ配信 等
【担当課】議事課

電子契約システムの導入 新

(契約管理費)

【予算額】71万円 (予算書P.57)

現在紙で行っている契約業務をオンライン化することで、契約相手方の利便性向上と事務処理の効率化・コスト削減を図ります。

- ◆導入時期：令和5年10月から順次
【担当課】用地管財課

市民窓口のキャッシュレス化 新

(賦課経費、戸籍住民基本台帳費)

【予算額】260万円 (予算書P.71、73)

市民課と税務課の窓口にキャッシュレス決済端末機を導入し、市民の利便性向上を図ります。

- ◆導入時期：令和5年6月
【担当課】市民課、税務課



マイナンバーカード連携型

電子母子手帳アプリ導入事業 新

【再掲33ページ】
【担当課】子育て応援課

登降園状況確認アプリ導入事業 新

【再掲32ページ】
【担当課】こども未来課

公的資産のマネジメント

小学校プール解体・駐車場等整備事業 新

【予算額】2億8,842万円 (予算書P.189)

【事業期間】令和5～8年度

老朽化が進む市内小学校のプールを計画的に解体するとともに、駐車場の整備など跡地の有効活用を図ります。

- ◆令和5年度：燕東小学校、粟生津小学校、吉田北小学校
【担当課】学校教育課

建物系公共施設保有量適正化事業

【予算額】ゼロ予算

令和5年度から計画中期（令和5～14年度）がスタートすることから、中期対象施設の統合・集約化の検討を始めます。

- 【担当課】用地管財課

公営住宅整理事業（市営住宅管理費）

【予算額】2,709万円 (予算書P.167)

老朽化が進む市営住宅の解体・整理を進めるとともに、跡地の有効活用を図ります。

- ◆売却予定：吉田東栄町住宅
- ◆解体予定：新生町団地 他
【担当課】営繕建築課

